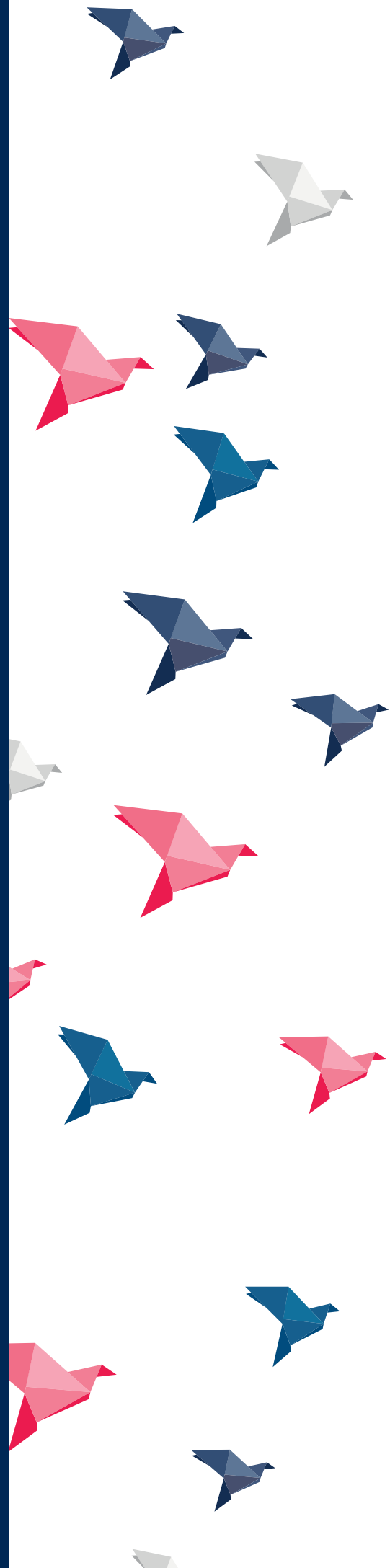


在日フランス商工会議所  
事業報告書



# 2018年度賛助会員



# 目次

|    |                      |    |                          |
|----|----------------------|----|--------------------------|
| 2  | 会頭メッセージ              | 38 | <b>4. コミュニケーション</b>      |
| 3  | 在日フランス商工会議所とは        | 38 | 4.1. 総括                  |
| 4  | 主要な出来事               | 39 | 4.2. 雑誌「フランス・ジャポン・エコー」   |
| 6  | 2019年度計画             | 39 | 4.3. 会員名簿                |
| 8  | <b>1. 組織</b>         | 40 | 4.4. 日仏交流史シリーズ           |
| 8  | 1.1. 理事会             | 41 | 4.5. CCIFJウェブサイト         |
| 9  | 1.2. 委員会             | 41 | 4.6. ニュースレター             |
| 10 | 1.3. 在日フランス商工会議所スタッフ | 42 | 4.7. ソーシャルネットワーク(SNS)    |
| 11 | 1.4. 名誉委員会           | 42 | 4.8. エヴド・ドゥ・ジャポン         |
| 12 | <b>2. メンバーシップ</b>    | 42 | 4.9. IT関連活動              |
| 12 | 2.1. 事業活動            | 43 | 4.10. その他のプロジェクト         |
| 13 | 2.2. 2018年の活動内容      | 44 | <b>5. 人材開発部</b>          |
| 14 | 2.3. 賛助会員数の進展        | 44 | 5.1. 総括                  |
| 15 | 2.4. 2018年の新会員       | 45 | 5.2. 人材紹介                |
| 16 | 2.5. 東京以外での活動と組織との連携 | 47 | 5.3. 研修セミナー              |
| 18 | <b>3. イベント</b>       | 48 | 5.4. 人事ネットワークの活性化        |
| 18 | 3.1. 総括              | 49 | 5.5. 企業と大学の架け橋           |
| 19 | 3.2. イベントの種類         | 50 | <b>6. 商務部</b>            |
| 19 | 3.3. 2018年のVIPスピーカー  | 50 | 6.1. 総括                  |
| 20 | 3.4. ネットワーキング・イベント   | 51 | 6.2. ミッション               |
| 20 | 3.5. フレンチビジネス大賞      | 52 | 6.3. 業務拠点提供・受け入れサービス     |
| 21 | 3.6. ガラ・パーティー        | 52 | 6.4. フランス領事館ネットワーク関連     |
| 24 | 3.7. 各委員会の活動         | 54 | <b>7. パートナー</b>          |
| 27 | 3.8. 賛助会員向けイベントの開催   | 54 | 7.1. 欧州ビジネス協会(以下EBC)への参加 |
| 28 | 3.9. フォーラム           | 55 | 7.2. 日本のパートナー、関連団体       |
| 29 | 3.10. 共催イベント         |    |                          |
| 30 | 3.11. ????????????   |    |                          |
| 31 | 3.12. ボンジュール フランス    |    |                          |
| 34 | 3.13. 100周年事業        |    |                          |

## 在日フランス商工会議所にとって歴史的な2018年



2018年を通じて、在日フランス商工会議所は創立100周年記念事業を開催しました。私達は、最も歴史ある在日外国商工会議所であるという誇りを持っています。それは、日本における欧州企業関連団体のトップであり、最もアクティブかつダイナミックな存在だからです。おそらく、絶えず未来を視野に入れてきたからこそ、これまで長きにわたって活動してこれたと思います。

並外れた企業家であった先駆者たちの物語について、弊所創立に携わった企業の「百年史」で語られています。私たちの未来へのインスピレーションは、日仏のビジネス交流のパイオニアたちの美しい物語の数々で彩られた冒険の歴史を知ることから生まれます。クリスチャン・ボラック著のすばらしい記念史である「企業の百年史」を是非一読下さい。

こうして確実に記録されてきた記憶を、私たちは今も継承しています。日常的な出来事は、弊所のウェブサイトに掲載しています。機関誌「フランス・ジャポン・エコー」が取り上げる特集は、時事問題に対して少し距離をおいて見ることを可能にしてくれるものです。この雑誌は、私たちのコミュニティー以外でも読まれ、弊所の名声に貢献しています。

雑誌「フランス・ジャポン・エコー」で取り上げられたテーマをもとに議論が始まり、交流や情報収集に対するニーズが生まれます。そうして誕生したのがテーマ別セミナー、そして「日仏ビジネスサミット」です。雑誌に呼応するかのようになり、各セクターを代表する関係者たちが、未来のビジョンを共有する、そして予測される発展のメリットを説明するために集まりました。都市計画を推進する代表的な業界関係者とともに、2030年や2040年の東京のプロジェクトを知ることができたのは、その一例です。また、航空工学、食文化、エネルギー、モビリティをめぐりセクター別セミナーでは、第一線で活躍する専門家の方々にご参加頂き、エネルギー転換の課題や自動運転車の到来によってもたらされる社会の大変動を理解することができました。

一年の締め括りとして2018年11月19日に開催した「日仏ビジネスサミット」の目的は、次の100年の考察を始めることにありました。この野心的なプロジェクトは、クリエイティブなものでもありました。800名を超える参加者、世界的に著名な30名を超えるスピーカーが集結しました。

そして、弊所創立100周年にちなんで2つの特別ミッションとして、フランスの中小企業100社、およびフランス全国弁護士会派遣団から100名の方々に「日仏ビジネスサミット」にご参加いただきました。内容や目標はそれぞれ異なるものの、日本がフランス企業の成長プロジェクトにおいて第一線の舞台であり続けていることを示すものとなりました。さらに別の面でも、弊所は会員企業の要望にこたえる活動を加速させました。欧州ビジネス協会を通じた、日本・EU経済連携協定(EPA)の締結に至る流れが一例です。

また昨年、フランス政府によるフランス企業の輸出サポートの枠組みに変革がありました。フランスにおける制度改革は、政府機関「ビジネスフランス」とフランス商工会議所の強みを「チーム・フランス・エクスポート」の名称のもとに統合しました。この新しい組織をフランス国外で展開するに際し、在日

フランス商工会議所が海外における初の団体として選ばれました。私たちは、ビジネスフランス、民間企業関係者、そして弊所による卓越した協力関係の証ともいえるこの信頼を誇りに思います。

我々は、今回のEPA(日EU経済連携協定)締結前から、フランスにおける同協定のプロモーションと情報配信を強化していました。日本関連の23件のセミナーがフランス商工会議所およびビジネスフランスのネットワークの協力により開催されました。

日本へのフランス企業の進出を成功させるには、時間をかけた取り組みが必要です。だからこそ、弊所の業務拠点提供や受け入れサービスを提供することで、フランス企業のニーズに応えることができました。さらなる効率化を図るため、カスタマイズされたサポートが日本でのコンサルタント・グループとの協力により行われています。

人材開発部は、いつでも会員企業の皆様の成功のために、未来の才能ある人材を開拓すると同時に、企業内のスタッフの能力を伸ばすためのソリューションを提供し続けています。早稲田大学で開催されたグローバル企業フェアと研修プログラムの第6回「グローバル・マネージャー・プログラム」が、成功を収めました。

毎年4月に東京と京都で行われる「ボンジュール フランス」は、在日フランス商工会議所が在日フランス大使館、スポンサー各社、伊勢丹の協力を得て開催しているイベントです。2018年は、フランスの新しいブランド22社を日本の消費者に紹介しました。これも成功を収めており、このイベントの勢いで「メイド・イン・フランス」に対する熱気は高まっています。

こうした新たなアプローチは、弊所の活動を活性化させる役割を果たしました。セミナーやイベントの数は高いレベルを維持しており、イベントの開催は115回を数えます。それにより、会員企業同士での交流やビジネス上のベストプラクティスの共有、すぐれた専

# 在日フランス商工会議所とは

 **100** ANS

**1918-2018**

日本で最も歴史のある外国の商工会議所です。  
100周年を迎えました。

門家との出会いといった可能性が生まれています。1年のスタートとして1月には「フレンチビジネス大賞」の授賞式を開催しました。また、11月8日の「第40回ガラ・パーティー東京」では、フランスのシャンパーニュ地方をテーマに100周年を祝いました。欧州の12の商工会議所と合同で開催している「ヨーロッパ・カクテル・パーティー」は、300人を超える参加者を集めました。

委員長の積極的なイニシアティブのもと各委員会は、一年を通じて内容豊かなイベントを開催しました。すべての委員長のご尽力に心から感謝いたします。

在日フランス商工会議所は、関東以外の地域でも積極的に活動しています。大阪では、第7回「ガラ・パーティー関西」を開催しました。ポルドー市の後援を得て、第5回「ガラ・パーティー福岡」と、未来の産業をテーマとした福岡(九州)日仏シンポジウムを開催しました。また、弊所の歴史において初となる、北海道(札幌)のミッションが3月8日と9日に開催され、弊所の参加者と地元の代表者らとの交流を深まりました。

在日フランス商工会議所の会員数は2018年、600に達しました。次の200周年に向けて、さらに前進して行きます。フランス企業の日本市場での活躍に向け、活動の強化、会員企業間の関係強化、世界市場の変化に即したサポートを提供することが、弊所の重要な役割です。

弊所は2019年も主要なテーマを軸に、存在感のある積極的な活動を引き続き推し進めていくことで、会員企業の皆様の要望に一層応えることを目指します。

**アルメル・カイエール**  
在日フランス商工会議所会頭

**34**

人のスタッフが働いています。

**最大**

最も規模の大きな欧州の  
商工会議所です。

在日フランス商工会議所は、  
世界92カ国、123拠点を  
持つ在外フランス商工会議所  
連合会のメンバーです。



メンバーシップ

**603**

会員数



イベント企画

**115**

2018年に実施した  
イベント数



人材開発

**664**

人の新たな候補者が、  
人材開発部のサイトに登録



コミュニケーション

**25.756**

CCIFJウェブサイトの  
月間準訪問者数



ビジネス支援

**179**

商務部が2018年に行った  
ビジネス支援ミッションの数





ヴァレオ・トランスミッション・ジャパンが2018年フレンチビジネス大賞を受賞 ➡ P.20



ブランドフォーラム ➡ P.24



ワイン&スピリッツ テイスティング パーティー ➡ P.35





100周年記念セミナー ➡ P.35



100周年記念セミナー ➡ P.35



ガラパーティー関西(京都) ➡ P.22



100周年史を発行 ➡ P.40



ガラパーティー東京 ➡ P.23



ガラパーティー東京 ➡ P.23



チームフランスエクスポート ➡ P.6



「フランス企業を知る2018」 ➡ P.49



日仏ビジネスサミット ➡ P.36



Meet and Connect ➡ P.35

## 「2世紀目を迎えた在日フランス商工会議所」

2019年は会員企業の皆様のニーズに応えるため、昨年の創立100周年を機に開始した取り組みをさらに強化していく。新規の活動、関係強化、会員企業の皆様に向けた事業をこれまでと同様に弊所の行動原則とする。

### 作り出す

会員企業の皆様との関係強化に向け、一連の取り組みを行う。日本における「チーム・フランス・エクスポート」(対日フランス輸出チーム)の設置は、フランスの新しい企業に向けた窓口として、会員企業のエキスパートとも連携しながら、在日のフランス企業と更なる発展を目指す機会とする。弊所の業務拠点提供・受け入れサービスでこうした企業の日本進出プロジェクトを支援する。

東京では4月10日から15日にかけて、京都では4月17日から21日にかけて開催される第5回「ボンジュールフランス」プロジェクトは、フランスの新しいブランドを日本の消費者に紹介する春の一大イベントである。

2019年は、200周年に向けた最初の年であり、新たな100年に向けて更に、強く、常に発展を求める商工会議所の基礎を築く年である。

**2019年度は、弊所200周年に向けた最初の年であり、私たちの前に広がる新たな100年に対して自らの地位を確固たるものにするための、強くそして近代的な商工会議所としての基礎を築く年となる。**

弊所は、関西地方で精力的に活動を続けると共に、あらたに福岡に九州オフィスを開設し、会員企業の九州市場における活動の支援を行っていく。

日本企業に対しても、弊所のビジネスコミュニティへの参加を引き続き促していく。

### 育てる

弊所は、会員企業の皆様のニーズに最大限応え、皆様の活動と交流の場を目指す。本年度も、豊かな内容のネットワーキングプログラムや各委員会の積極的な活動を通じて、知識交流を促進するファシリテーターの役割を担う方針である。11月14日の「ガラ・パーティー東京」、ボルドー市の後援を得、5月20日に同日開催する日仏経済フォーラムと「ガラ・パーティー福岡」、9月27日に大阪で開催される「ガラ・パーティー関西」は、本年のメインイベントである。1月31日の「第8回フレンチ・ビジネス大賞」と12月の企業フォーラムには、会員企業の皆様の日本での存在感を高めるものとなる。弊所の人材サービスにより、会員企業の皆様の求人活動を引き続き支援していく。

会員企業の皆様と連携し、会員数の増加を目指し、日本における欧州第一の商工会議所として活動を推進する。各会員企業向けにカスタマイズした訪問プログラムで、より適切なサービスの提供を目指す。

ソーシャル・ネットワーキング・サービスの専門業務とともに、新しいウェブサイトのコンテンツと機能の開発を続けていく。

### 開発する

会員企業の皆様に対するサービスの強化を目指す。

2019年春、日本橋本町の新オフィスに移転を予定している。よりモダンな雰囲気のあるオフィスで、会員企業へのサービス効率を高めていく。1階の「商業スペース」を会員企業の皆様にご利用いただけるのが、新たな特徴である。このスペースでは、イベント、セミナー開催、販促活動の実施や、期間限定のポップアップストアの設置が可能となる。

フランスの卓越性を強調する一連の分野別イベントや12月11日の「第2回日仏ビジネスサミット」が、本年のメインイベントである。これらのイベントは、新しい労働・商業組織の影響、そして新しいテクノロジー(人工知能、ロボット化など)の影響といった、会員企業の皆様にとっての将来の課題について一緒に考え、ビジョンを提案することを目的とする。

弊所は、会員企業の皆様へのサービスの開発に専心し、新たな研修を打ち出すなど研修サービスを通じた取り組みを強化する。

雑誌『フランス・ジャポン・エコ』は日仏ビジネスについての基本資料となることを目指し、日本のみならずフランスでもより広く読まれるようになり、弊所のメッセージを伝え、会員企業の皆様の成功を支えていくことを目指す。

弊所は、2019年2月1日に発効した日本・EU経済連携協定(EPA)のモニタリングなどのため、欧州ビジネス協会(EBC)内での取り組みに参画していく。

このように2019年度は、200周年に向けた活動をスタートする最初の年です。新しい100年は、商工会議所の活動を強化し、そして近代的な商工会議所としての基礎を築く年となる。弊所は、強固なネットワークと独自のノウハウを武器に、支持層を増やし、活動範囲を拡大して行く。「会員の皆様に奉仕すること。これこそが、弊所が常に掲げている目標である。



# FRENCH JAPANESE BUSINESS SUMMIT 2018

2018年11月19日 会場:日経ホール



# 1. 組織

## 1.1 理事会

理事会は、在日フランス商工会議所の諸活動の骨格となる方針を定め、事業が正しく遂行されているかを監督する役割を担う。2018年度、理事会は11回開催された。

会頭



アルメル・カイエル  
株式会社 B4F

第一副会頭



信元久隆  
曙ブレーキ工業株式会社

第二副会頭



ノルベールルレ  
LVMHモエ ヘネシー・  
ルイ ヴィトン・ジャパン  
株式会社

第二副会頭



ギョ ボノー  
サフラン・ヘリコプター・  
エンジンズ・ジャパン  
株式会社

第四副会頭



アントニー グルメル  
バロン・フィリップ・ド・  
ロスシルド・オリエント  
代表事務所

第五副会頭



ドゥニ ヴェルニョ  
ヴァローナ  
ジャボン株式会社

専務理事



アーノ・ラストゥール  
ボロレ・ロジスティクス・  
ジャパン 株式会社

会計



アラン・コンビエ  
日本エア・リキード株式会社

理事



フィリップ・アヴリル  
BNPパリバ証券株式会社

理事



ジェローム・プリュア  
日本ロレアル株式会社

理事



フィリップ・ダルペラ  
フィリップ・ダルペラ外国法  
事務弁護士事務所

理事



ベルナール・テルマス  
日本ミシュランタイヤ  
株式会社

理事



義和 ヤン・ガイエ  
バカラバシフィック  
株式会社

理事



フィリップ・クラン  
日産自動車株式会社

理事



デヴィ・ルドゥサル  
TMI総合法律事務所

理事



フランソワ サビエ・  
リエナール  
株式会社ビュッフェ・  
クランボン・ジャパン

理事



マニグリエ・真矢  
有限会社 エクスプリム

理事



クリストフ・マケ  
ヴェオリア・ジャパン  
株式会社

理事



エマヌエル・ムノント  
ヴァンシ・エアポート・  
ジャパン株式会社  
関東地方以外担当理事

理事



三木 均  
リシュモン ジャパン  
株式会社

理事



アリ・オードバティ  
株式会社ヴァレオジャパン

理事



クリスチャン・ボラック  
株式会社セリク

理事



ジャン・ミシェル セール  
オレンジ・ジャパン  
株式会社

理事



ステファン・  
ヴァノヴェルメール  
エールフランス航空

理事



リョネル・ヴァンサン  
ルフェーブル・ベルティエ・  
エ・アソシエ外国法事務弁  
護士法人金塚法律事務所(外  
国法共同事業)

監事



エマニュエル・アンギス  
KPMGジャパングループ

監事



ティエリ・ドゥジェヌ  
監査法人 トーマツ

監事



ミカエル・ラファージ  
イーワイ

## 1.2 委員会

2018年、在日フランス商工会議所は16の委員会を組織した。各委員会は、在日フランス商工会議所の活動内容を分野別に検討し、定期的にネットワーキングやセミナーを開催した。

### 機能委員会

#### メンバーシップ委員会

- 委員長：信元 久隆 (曙ブレーキ工業株式会社)
- 委員：ベルナル・デルマス (日本ミシュランタイヤ株式会社)

メンバーシップ委員会は、日本国内の日本企業、フランス企業を対象にした在日フランス商工会議所の入会プロモーション活動を企画する。2018年は、1度開催された。

#### 出版委員会

- 委員長：ベルナル・デルマス (日本ミシュランタイヤ株式会社)
- 委員：エマニュエル・プラット (LVMHモエヘネシー・ルイヴィトン・ジャパン株式会社)、クリスチャン・ボラック (株式会社セリク)、ランドリー・ゲドン (岩田合同法律事務所)、アルメル・カイエール (株式会社 B4F)、フレデリック・ベノリエル、ジェローム・シュシャン (ゴディバジャパン 株式会社)、義和 ヤン・ガイエ (バカラ パシフィック株式会社)、アントニー・グルメル (バロン・フィリップ・ド・ロスシルド・オリエント 代表事務所)

出版委員会は、雑誌「フランス・ジャポン・エコー」で毎号取り上げる特集のテーマや内容を検討・決定し、CCIFJウェブサイトやニューズレター、会員名簿やその他の情報ツールに関する企画、運営方針について協議する。2018年は9回開催された。

#### ガラ・パーティー運営委員会

- 委員長：ドゥニ・ヴェルニョ (ヴァローナ ジャパン 株式会社)

ガラ・パーティー運営委員会は、福岡、関西、東京のガラ・パーティーの運営方針を決定するための委員会で、2018年は2月15日に開催された。

#### イベント委員会

- 委員長：ドゥニ・ヴェルニョ (ヴァローナ ジャパン 株式会社)
- 委員：全てのオペレーション委員会の委員長

イベント委員会は、オペレーション委員会の委員長が集まり、ノウハウを共有し、それぞれのイベントの日程の調整などを行う。2018年は1月19日に開催された。

### オペレーション委員会

#### BCP事業継続マネジメント委員会 → P.24

委員長：ピエール・スヴェストル  
(リスク マネージメント コンサルタント)

#### ブランド・フォーラム委員会 → P.24

委員長：ジェローム・ブリュア (日本ロレアル 株式会社)

#### 起業家委員会 → P.24

委員長：ファブリス・シンドラー (パソ)

#### デザイン・シンキング委員会 → P.24

委員長：マニグリエ 真矢 (有限会社 エクスプリム)

#### 税制・規制委員会 → P.25

委員長：フィリップ・ダルペラ  
(フィリップ・ダルペラ外国法事務弁護士事務所)

#### スポーツ競技会委員会 → P.25

委員長：アントニー・グルメル  
(バロン・フィリップ・ド・ロスシルド・オリエント代表事務所)

#### ビジネス テレロップメント委員会 → P.25

委員長：エマニュエル・マーシャ (カムソ・ジャパン株式会社)

#### 革新技術・情報委員会 → P.26

委員長：ピエール・ムスティエール (ブイグ アジア)

#### ヤングプロフェッショナル委員会 → P.26

委員長：セバスチャン・パエス (ダッソー・システムズ株式会社)

#### マーケティング・流通委員会 → P.26

委員長：フィリップ・ジャルダン (株式会社ピエールファーブルジャパン)

#### 人材開発委員会 → P.48

委員長：エレン・プルゲール (エアバス・ジャパン株式会社)

#### ウーマン・イン・ビジネス委員会 → P.26

委員長：富永典子 (パリ商工会議所日仏経済交流委員会)

オペレーション委員会の詳細は、記載されたページをご参照ください。

## 1.3 在日フランス商工会議所スタッフ

▶ 東京オフィス、関西オフィス、九州オフィスで合計34人が勤務している。(2019年3月8日時点)

### ▶ 事務局長

ニコラ ボナルテル

### ▶ 経理・総務

#### 経理

田代 裕子 - 部長  
二羽裕美 <sup>(1)</sup>

#### 秘書

塚田恵美子

### ▶ イベント

マネージング・ディレクター  
尾崎真理 <sup>(2)</sup>

#### イベント

吉田 暢子  
ダニー ウォン

#### ビジネスリーダーフォーラム

アニエス サルフレイ  
オードリー ヨアンシー

### ▶ 会員サービス

マネージング・ディレクター  
バレリー コンシカー

#### 人材開発部

ブノア・スタレチェスキ <sup>(3)</sup>  
横山泰子

#### 広報・事業推進部

森山徹 - 部長  
ペリーヌ・ルック  
レジス・アルノー

#### メンバーシップ

渋谷麻衣子 - 部長  
精松 玲子 <sup>(4)</sup>

### ▶ 関東以外エリア担当

ジム ジョゼフ - 部長

#### 関西デスク

安田 文音

#### 九州デスク

ジュリアン コント

### ▶ ビジネス支援

マネージング・ディレクター  
アドリアナ・アーシャンポー

#### ビジネスデプロップメント

渡辺 惟  
エドゥアール・カーズ  
メラニー ルブリス

#### B2B/Team France Export

石川浩子 - 部長  
高梨恵津子  
清水 麻里子 <sup>(5)</sup>  
滝山 惇

#### カスタマイズサポート

内田侑香

### ▶ ボンジュール フランス

アドリアナ・アーシャンポー - 部長

"ボンジュール フランス", 百貨店・  
日本企業担当  
内田侑香

"ボンジュールフランス" ミッション担当  
メラニー ルブリス

"ボンジュール フランス", スポンサー・  
イベント担当  
ソニア・ルグロ <sup>(6)</sup>

"ボンジュール フランス", スポンサー・  
イベントコーディネーター  
池田 周子 <sup>(7)</sup>

"ボンジュール フランス", 広報・イベント担  
当  
カリン バジェ

"ボンジュール フランス" コミュニケーション・  
コーディネーター  
鬼頭 朝子

1. 高良美幸が退職後、二羽裕美が2018年3月に就任  
2. クロエ・クワレルが退職後、尾崎真理が2018年12月に就任  
3. ニコラ・モルメネオが退職後、ブノア・スタレチェスキが2018年10月に就任  
4. 二羽裕美が経理に異動し、精松 玲子が2018年9月に就任  
5. 高原あゆ美が産休に入り、清水 麻里子が2018年9月に就任  
6. エマ・ロンフロンキが退職後、ソニア・ルグロ が2018年3月に就任  
7. 中西麻美が経理に異動し、精松 玲子 が2018年3月に就任  
+ 石島秀彬が2018年12月まで100周年プロジェクトに従事

## 1.4 名誉委員会

当委員会は日本ビジネス界トップレベルの指導者をメンバーとし、日仏関係発展に  
関しての提言および方向付けを行う事を目的としている。

在日フランス商工会議所は、日仏間の経済および貿易関係強化を図るために、日本のビジネス界と共同で  
実行される両国間緊密化の枠組みに従って、2001年1月、「日仏推進委員会」を発足した。日本経済会との  
関係をさらに深めるため、2007年に名前を「名誉委員会」へ変更した。2013年、信元久隆副会頭の尽力に  
より、新たなメンバーを迎えた。

### 2018年度、在日フランス商工会議所 名誉委員会の構成は次の通り

#### 名誉委員長

ローラン・ビック 駐日フランス大使

#### メンバー

|       |   |
|-------|---|
| 福原 義春 | 株式会社資生堂 名誉会長                                |
| 早川 茂  | トヨタ自動車株式会社 取締役副会長                           |
| 日枝 久  | フジテレビジョン 取締役相談役                             |
| 堀場 厚  | 株式会社堀場製作所 代表取締役会長兼グループCEO                   |
| 稲畑 勝雄 | 稲畑産業株式会社 相談役                                |
| 小林 栄三 | 伊藤忠商事株式会社 特別理事                              |
| 小柴 満信 | JSR株式会社 代表取締役社長                             |
| 御立 尚資 | 株式会社ボストンコンサルティンググループ シニア・アドバイザー             |
| 信元 久隆 | 曙ブレーキ工業株式会社 代表取締役会長兼社長                      |
| 大江 匡  | 株式会社プランテックアソシエイツ 代表取締役会長兼社長                 |
| 岡田 元也 | イオン株式会社 代表執行役社長 グループCEO                     |
| 志賀 俊之 | 日産自動車株式会社 取締役                               |
| 杉田 亮毅 | 日本経済研究センター 参与                               |
| 鈴木 泰信 | NTN株式会社 名誉技術顧問                              |
| 滝 久雄  | 株式会社ぐるなび 代表取締役会長・創業者                        |
| 辻 慎吾  | 森ビル株式会社 代表取締役社長                             |
| 内海 孚  | 東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社 グローバル・アドバイザー・ボード議長 |

## 2.メンバーシップ

### 2.1 事業活動

会員、会員企業の開拓、会員同士のコミュニケーションを促進

2018年12月31日現在、会員数は603。そのうち、374が在日正会員、93社が在日賛助会員である。  
CCI FRANCE JAPON (以下CCIFJ) は、在日欧州商工会議所の中で最大の規模を誇る。

2018年度は、フランス市場、在日フランス系企業に興味を持つ日系企業の開拓に力を入れた。その結果49社の日系企業が入会した。

メンバーシップ部では会員企業の個別訪問を強化し、会員同士のコミュニケーションに一層の力を入れた。

日仏交流における重要な年である2018年は、会員数が600を超えることを目標とした。

# 603

会員数

[586 fin 2017]

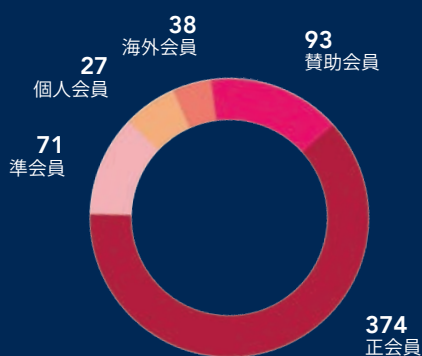
# +17

2017年比の会員数

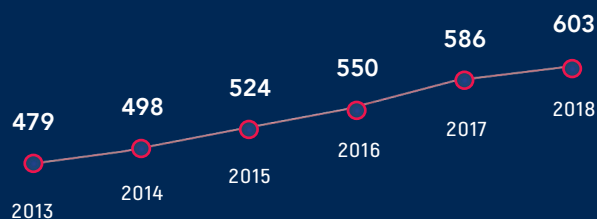
# 467

賛助会員と正会員の数

種類別会員数



会員数の推移



## 2.2 2018年の活動内容

### 会員フォローアップ事業

2018年は、主に3つの活動に重点を置いた。

### 2.2.1 日系企業入会の促進

2020年の東京五輪開催を見据え、「インターナショナル」という言葉に魅了される日本企業が増えている。こうした状況により、フレンチ・ビジネス・コミュニティの重要性は益々高まり、その結果49社の日系企業入会に繋がった。

### 2.2.2 会員同士のコミュニケーションの促進

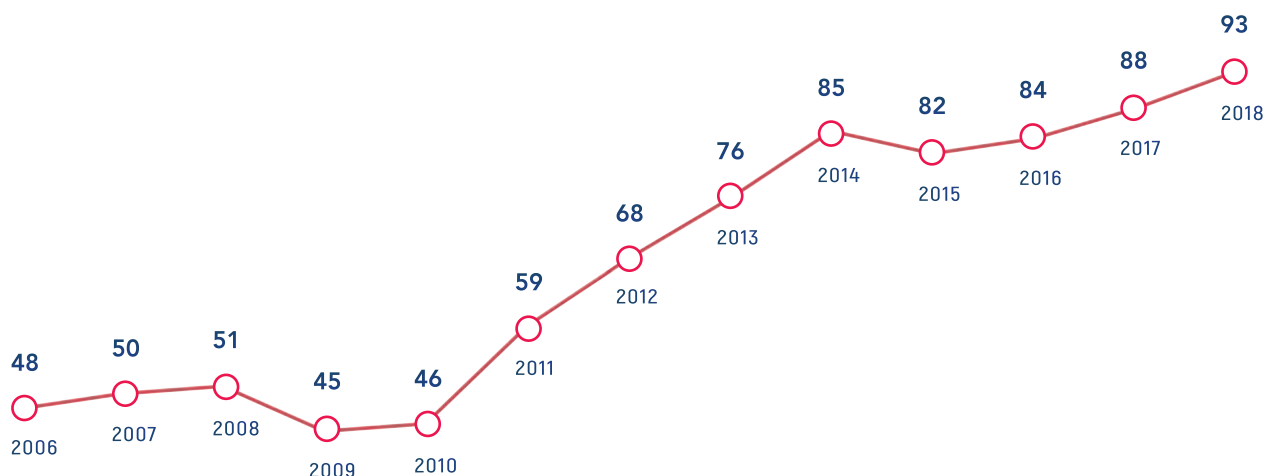
2018年1月より150以上の会員交流・紹介を実現させ、会員企業間の連帯を強めた。

### 2.2.3 メンバーへのアンケート実施

創立100周年を記念し、フランス商工会議所のサービスに関する大規模なアンケートを実施した。アンケートは全会員に配布され、そのうち70社には面談での調査を行なった。この結果をもとに、2019年はより一層のサービス向上を図っていく。



## 2.3 賛助会員数の進展



2018年12月31日時点での賛助会員数は、93社。

1. ADP (バリ空港公団) インターナショナル
2. エイジーエス フォー ウィンズ ジャパン 株式会社
3. エールフランス航空
4. 日本エア・リキード 株式会社
5. 曙プレーキ工業 株式会社
6. アンダーズ東京
7. レイモンジャパン 株式会社
8. アクサ生命保険株式会社
9. バカラ パシフィック株式会社
10. バロン・フィリップ・ド・ロスシルド・オリエント 代表事務所
11. ビオメリュー・ジャパン 株式会社
12. BNPパリバ証券株式会社
13. ボロレ・ロジスティクス・ジャパン 株式会社
14. 株式会社ビュッフェ・克蘭ボン・ジャパン
15. シャネル 株式会社
16. クラランス 株式会社
17. 株式会社 クラブメッド
18. クレディ アグリコル コーポレート インベストメント バンク
19. 株式会社 大丸松坂屋百貨店
20. 大和ハウス工業株式会社
21. ダノンジャパン 株式会社
22. ダータワーズジャパン株式会社
23. テロイト トーマツ
24. デジタル サーフ
25. 株式会社エデンレッドジャパン
26. エンワールド・ジャパン株式会社
27. エンジーサービス・アジア・パシフィック
28. イーワイ
29. フォルシア・ジャパン 株式会社
30. 株式会社 GARDE
31. ゴディバジャパン 株式会社
32. 株式会社 グラムスリー
33. グランド ハイアット 東京
34. リュシアン バリエール グループ
35. 株式会社 グループセブ ジャパン
36. 株式会社 ぐるなび
37. アシェット・コレクションズ・ジャパン 株式会社
38. ヘイズ・スペシャリスト・リクルートメント・ジャパン 株式会社
39. エルメスジャポン 株式会社
40. ハイアット リージェンシー 東京
41. JKホールディングス株式会社
42. 株式会社 ケリング ジャパン
43. KPMGジャパングループ
44. 株式会社 LAGARDERE ACTIVE ENTERPRISES JAPAN
45. LIMAGRAIN / みかど協和株式会社
46. ロクシタンジャポン 株式会社
47. LPA
48. LVMH モエ ヘネシー・ルイ ヴィトン・ジャパン 株式会社
49. マルヤス工業株式会社
50. マザージャパン 株式会社
51. マッキンゼー・アンド・カンパニー・インコーポレイテッド・ジャパン
52. 三井不動産 株式会社
53. ナティクス日本証券株式会社
54. ネスレ ネスプレッソ 株式会社
55. 日本ロレアル 株式会社
56. 日本ミシュランタイヤ 株式会社
57. 株式会社 ニコン・エシロール
58. 日産自動車株式会社
59. NTN 株式会社
60. オレンジ・ジャパン株式会社
61. 大塚化学 株式会社
62. パーク ハイアット 東京
63. ペルノ・リカール・ジャパン 株式会社
64. ブジョー・シトロエン・ジャポン 株式会社
65. 株式会社 ビエール ファーブル ジャポン
66. 株式会社プリオコーポレーション
67. プライスウォーターハウスクーパース ジャパン
68. オクシタニー地域圏 / ピレネー・メディテラネ
69. 株式会社レランサ
70. ルノー・ジャポン株式会社
71. リシュモン ジャパン 株式会社
72. ロケットジャパン 株式会社
73. エス・テー・デュボン ジャポン株式会社
74. サフラン・ヘリコプター・エンジンズ・ジャパン株式会社
75. サンゴバン
76. サノフィ株式会社
77. スキャリティ・ジャパン株式会社
78. 株式会社SMBC信託銀行
79. ソシエテ ジェネラル
80. ソルベイジャパン 株式会社
81. 株式会社ソニー・クリエイティブプロダクツ
82. スワロフスキー・ジャパン 株式会社
83. 株式会社 TASAKI
84. タレス ジャパン 株式会社
85. TMI総合法律事務所
86. トタル・インターナショナルSA., 日本支社
87. トヨタ紡織 株式会社
88. 豊田通商 株式会社
89. 株式会社TRADERS MARKET
90. 株式会社ヴァレオジャパン
91. ヴァローナ ジャポン 株式会社
92. ヴェオリア・ジャパン 株式会社
93. ウェンデル・ジャパン 株式会社



## 2.4 2018年の新会員

### 在日賛助会員

11企業が新賛助会員として入会

1. ADP (パリ空港公団) インターナショナル
2. 株式会社ビュッフエ・克蘭ボン・ジャパン
3. エンジーサービス・アジア-パシフィック
4. エンワールド・ジャパン株式会社
5. バリエール グループ
6. ロクシタンジャポン 株式会社
7. オクスタニー地域圏 / ヒレネー・メディテラネ
8. サフラン・ヘリコプター・エンジンズ・ジャパン株式会社
9. スキャリティ・ジャパン株式会社
10. 株式会社ソニー・クリエイティブプロダクツ
11. 株式会社TRADERS MARKET

### 在日正会員

59の企業が新正会員として入会

1. アルバトロス・グローバルソリューションズ株式会社
2. アルマ出版
3. アルカミス
4. 花空間
5. アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
6. 株式会社 大垣書店
7. カーシエル株式会社
8. ニコラ・フィアット
9. クロノポスト
10. DKSHジャパン株式会社
11. ドクターズヘルスケア 産業医事務所
12. 株式会社ドメーヌ
13. 東日本旅客鉄道株式会社
14. EPIグループ
15. 公益財団法人日仏会館
16. 株式会社 フォーシーズンズプレス
17. ガストロノミー・パートナーズ株式会社
18. 株式会社山本商店
19. HAPPY WOMAN 株式会社
20. 株式会社初田製作所
21. Hiroko. K 株式会社
22. アイディ・ジャパン株式会社
23. 株式会社中ノセント
24. 東京日仏学院
25. 株式会社 クロベコーポレーション International Language House
26. 一般社団法人日本ティーブテック協会
27. ジャポニカ株式会社
28. K2 株式会社
29. カレイドジャパン株式会社
30. カンサイ - ギッド
31. 株式会社ケイクール
32. 輿石国安税理士事務所
33. KYOTO Leather株式会社
34. ル プティ カ
35. ルノートル
36. 株式会社LIFE.14
37. 合同会社 LifeCrack
38. エル・エム・ビー・アジア株式会社
39. 西桂町役場
40. 有限会社ミホプロジェクト
41. エムパワードセールズ株式会社
42. 一般社団法人国際日本美術歴史文化研究保存協会
43. ヌクセオ・ジャパン株式会社
44. ファルメド
45. 有限会社 ポッションエッズ
46. 統一翻訳株式会社
47. ルネッサンスラグジュアリージャパン株式会社
48. 株式会社リスキーブランド
49. 学校法人 浦山学園 (学園本部)
50. 三井住友トラストクラブ株式会社 (ダイナースクラブ)
51. THE PARK株式会社
52. ザ・ブランド株式会社
53. ティワル・ジャパン
54. TOKYO THERAPY & WELLNESS CENTER
55. 株式会社 TRUNK
56. 臼杵市役所
57. 渡文株式会社
58. 地方自治体
59. ZV JAPON 株式会社

### 個人会員

5名が新個人会員として入会

1. 鼎 博之 様
2. 森本 利奈 様
3. 森尾 一幸 様
4. リチャード・モート 様
5. Richard WILLEMANT 様

### 海外会員

4企業が新海外会員として入会

1. CLARÉ LEGAL - AVOCATS A LA COUR DE PARIS
2. ÉCOLE DE MANAGEMENT BRETAGNE ATLANTIQUE - ISUGA
3. INDOCHINA LEGAL
4. MAISON DU BON

## 2.5 東京以外での活動と組織との連携

2018年も東京以外での活動を精力的に行い、関西では在日フランス商工会議所主催で約20のイベントを開催、15社が入社した。山梨エリアも進出を図り、3会員を獲得した。

### 関西デスクのミッション

ボロレ・ロジスティクス・ジャパン株式会社のご厚意のもと、事務所の一部に在日フランス商工会議所・関西デスクを設置している。

関西デスクのミッションは、関西におけるフレンチ・ビジネス・コミュニティを活性化することであり、会員同士のコミュニケーション、イベントの企画と運営を主な活動としている。

### 15の新入会員

- ミホプロジェクト (京都)
- 京都レザー (京都)
- 森本 利奈 (神戸)
- 森尾 一幸 (大阪)
- ケイクル株式会社 (大阪)
- ジャポニカ株式会社
- リチャード・モート (神戸)
- カンサイ-ギッド (大阪)
- Le petit K (大阪)
- 一般社団法人国際日本美術歴史文化研究保存協会 (京都)
- アルマ出版 (神戸)
- 株式会社山本商店 (神戸)
- 株式会社 大垣書店 (京都)
- 渡文株式会社 (京都)
- トラベシア (大阪)

### 在日フランス商工会議所の地域アンバサダー

大阪のアルドネット株式会社のローラン・サファ代表取締役が辞任し、新たにアンシャントマン株式会社、松山秀俊代表取締役社長が任命された。

京都の川崎機械工業株式会社の林誠一郎代表取締役社長は引き続き地域アンバサダーとして任命されている。

在日フランス商工会議所の「地域アンバサダー」は、日仏経済交流の発展に無償で貢献し、各地域に存在するフレンチ・ビジネス・コミュニティの拡大、活性化に尽力するという役割を担っている。

Publication de la CCI France Japon

# 1918 2018

Un siècle de l'histoires d'entreprises au Japon  
日仏企業百年史

➡ P.40

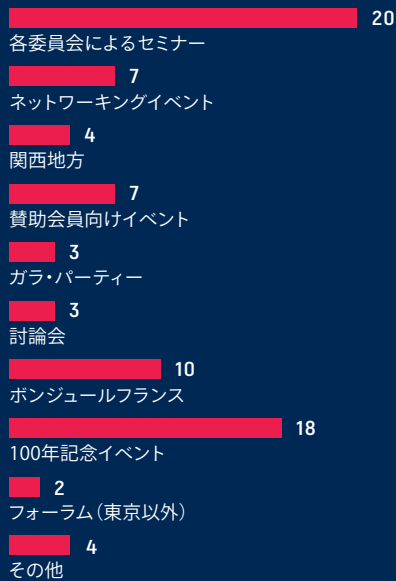


# 3. イベント

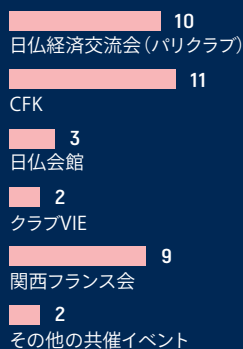
## 3.1 総括

2018年は、115の主催・共催イベントが企画・実施された。ネットワーキング・イベントから経済界の最新テーマに関する講演会まで、イベント企画部は常に会員の要求に答えるべく、情報提供やネットワークの場を生み出していく。

### CCI FRANCE JAPON 主催イベント : 78



### 共催イベント : 37

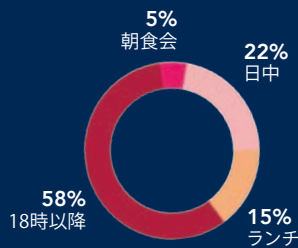


約 **7100** 人の出席者があり

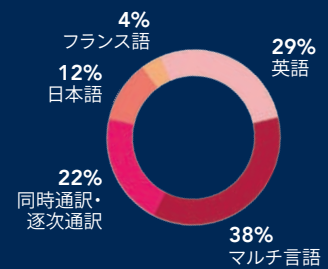
そのうち **1284** 人は2018年に開催された3回のガラ・パーティーの出席者

**3** 一週間に平均で開催されるイベントの数(バカンスシーズンは除く)

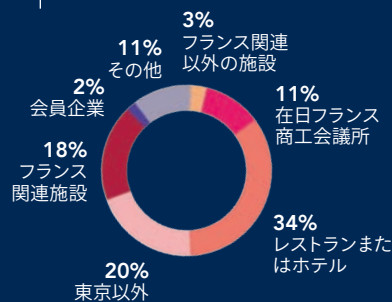
#### 時間帯



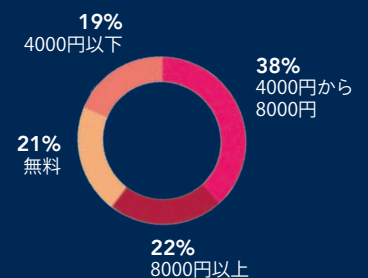
#### 使用言語



#### 場所



#### 会費



## 3.2 イベントの種類

- ▶ CCIFJ例会（エコノミスト、企業代表、政治家等のスピーカーを迎えての朝食会、昼食会、講演会等）
- ▶ アフターサマー・パーティーや新会員オリエンテーションを含むネットワーキング・イベントおよび、CCIFJ会員に有益な情報交換会やその他会合
- ▶ 企業見学
- ▶ 恒例年次行事：ガラ・パーティー（京都：5月、福岡：5月、東京：11月）およびゴルフトーナメントは、日本の顧客およびパートナーに対する自らの企業の広報手段として会員に利用されている。
- ▶ BCP（ビジネス・コンティニュイティ・プラン）委員会、ブランド・フォーラム、起業家委員会、デザイン・シンキング委員会、税制・規制委員会、スポーツ競技会委員会、ビジネス・デベロップメント委員会、革新技術・情報委員会、ヤングプロフェッショナル委員会、マーケティング・流通委員会、人材開発委員会、ウーマン・イン・ビジネス委員会等、テーマ別会合
- ▶ 日仏経済交流会（パリクラブ）、公益財団法人日仏会館、関西フランス会、各地の商工会議所、日仏工業技術会、ファム・アクティブ・ジャポン（FAJ）、クラブVIE、フォーラム・フォー・コーポレートコミュニケーションズ（FCC）及び、東京商工会議所、在日の外国商工会議所ら関係団体との共催イベント

## 3.3 2018年のVIPスピーカー



ジャン＝イヴ・ル・ドリアン  
仏国ヨーロッパ・外務大臣  
(1月29日)



黒田麻衣子  
株式会社東横イン  
代表取締役社長  
(2月6日)

クリストフ・ウェバー  
武田製薬工業株式会社  
代表取締役社長CEO  
(3月7日)



フロリアン・コールバハ  
エコノミスト コーポレート  
ネットワーク  
北アジアディレクター  
(4月18日)



## 3.4 ネットワーキング・イベント

| ネットワーキング・イベントに、延べ800名が参加した。



新年会及びフレンチビジネス  
大賞受賞式 参加者232名  
1月31日



ヤングプロフェッショナル  
ネットワーキングイベント 参加者190名  
7月31日



懇親会 アフターサマー・パーティー  
参加者120名  
9月27日



懇親会 14の欧州商工会議所合同レセプション  
参加者241名  
10月26日

## 3.5 フレンチビジネス大賞

フレンチビジネス大賞は、幅広い分野で活躍する在日フランス商工会議所の会員企業の優れた活動を称え、企業活動で顕著な業績があった、もしくは社会貢献をおこなったものに与えられる。エントリー資格は、国籍は問わず、在日フランス商工会議所の会員企業であること。カンパニー・オブ・ザ・イヤー、審査員特別賞、ベスト中小企業(SME)賞、ベスト CSR 賞、ベストプロダクト・サービス・オブ・ザ・イヤー、フレンチテック東京賞、イノベーション賞の7つの賞を選出した。

2018年の受賞企業は以下の通り

- カンパニー・オブ・ザ・イヤー: ヴアレオトランスミッション  
ジャパン株式会社
- ベストプロダクト・サービス・オブ・ザ・イヤー: フォルシア・  
ジャパン 株式会社
- ベスト中小企業(SME)賞: WEARE PACIFIC株式会社
- ベスト CSR 賞: 小田急電鉄株式会社
- 審査員特別賞: アクアビッツスパイラルズ
- フレンチテック東京賞: ファイナルキャド
- イノベーション賞: エルピクセル株式会社



## 3.6 ガラ・パーティー

### ガラ・パーティー福岡



5月22日、在日フランス商工会議所主催の「ガラ・パーティー福岡2018」が、「ボルドー レジェンド」をテーマに、ホテルニューオータニ福岡にて行われた。ガラ・パーティー開催にあわせて、福岡市と姉妹都市であるボルドー市の代表と訪問団が、パーティー及び、同日に開催した経済フォーラムにあわせ来日した。ローラン・ピック駐日フランス大使、江口勝 福岡県副知事、貞刈厚仁福岡市副市長、アレクサンドラ・シアリボルドー市副市長などフランス・ボルドーと福岡・九州の友好関係に携わる方々をゲストに迎え、総勢205人が参加した。ポキューズ・ドールとM.O.F.(フランス国家最優秀職人賞)の二つのタイトルを持ち、ミシュランの星を獲得しているフランソワ・アダムスキシェフと、が来日し、腕をふるった。ボルドー地方音楽学院、ピアニストのフランソワ・デュフレ氏が来日、コンサートを行った。そして、恒例の豪華賞品が当たる大抽選会が行われた。

ガラ・パーティーに先立ち同日午後、同じく福岡市内の共創館で「フランス-福岡(九州)経済フォーラム2018」を、在日フランス商工会議所主催、福岡商工会議所、(公財)福岡観光コンベンションビューロー共催で開催され、日仏ビジネス交流の記念すべき一日となった。

## ガラ・パーティー関西(京都)

5月30日、継続開催となり6回目を迎えた在日フランス商工会議所主催の「2017年ガラ・パーティー関西」が、ホテルハイアットリージェンシー京都にて、行われ、277名が参加した。

日仏友好160周年と在日フランス商工会議所創立100周年を祝うガラ・パーティー関西に併せて、トゥールーズ、モンペリエ、カルカソンヌ、ニームなどの主要都市を擁するオクシタニー地域圏の代表が来日した。オクシタニー地域圏を代表するシェフの一人で、ミシュラン2つ星受賞シェフのミシェル・サランシェフが来日、腕を奮った。ジャコバン国際ピアノ音楽祭参加ピアニストのレミ・パノシアン氏が来日し、ジャズや有名な楽曲を披露した。そして、恒例の豪華賞品が当たる大抽選会が行われた。





# 100 ガラ 2018



## ガラ・パーティー東京

2018年11月8日、東京・帝国ホテルにて恒例の「ガラ・パーティー東京2018」を開催した。在日フランス商工会議所設立100周年という記念の年に開催されたガラ・パーティーに800人を超える招待客が参加した。2018年のテーマは、「フランス・シャンパーニュ地方」。フランス商工会議所の100年の歴史を祝うため、シャンパーニュ地方から特別使節団が来日、同地方の名産であるシャンパーニュが招待客に振舞われた。シャンパーニュ地方の名門シャトー「レ・クレイエル」のフィリップ・ミル・シェフが来日し、特別メニューを披露した。引き続き、フランス人歌手クレモンティーヌの特別コンサートがステージ上で繰り広げられた。最後に、毎年恒例の330以上の賞品が当たる大抽選会が開催された。



## 3.7 各委員会の活動

### 3.7.1 BCP(ビジネス・コンティニュイティ・プラン)委員会

企業が自然災害や事故に遭遇した際、事業の継続に必要な助言やサポートを行う。在日フランス商工会議所のサイトに「手引き」を掲載する。事業継続マネジメントについてのセミナーを開催する。

委員長

ピエール・スヴェストル(リスク マネージメント コンサルタント)

2018年はイベント開催なし。

### 3.7.2 ブランド・フォーラム

日本における「ブランド」について意見を交わす機会創出に向けたワーキング・グループ(担当アドリアナ・アルシャンポー)で、活動を行った。

委員長

ジェローム・ブリュア(日本ロレアル株式会社)

2018年は、イベント1回開催

#### ▶ 2月20日

ブランド・フォーラムhow can Japan shape a new future and offer new opportunities? ゲストスピーカー: ノルベール・ルレ(LVMHモエ ヘネシー・ルイ ヴィトン・ジャパン株式会社、代表取締役社長)、フィル・ピアソン(電通アイソバー東京本社、グローバル アカウント マネージャー)、カミマツ アヤ(電通アイソバー東京本社、デザイナー)、エルヴェ・マゼラ(パークハイアット、総支配人)



### 3.7.3 起業家委員会

日本で起業を希望するフランス人の支援を行う。専門家によるアドバイスをを行い、具体的に企業の活動を後押しした。

委員長

ファブリス・シンドラー氏(パソ株式会社)

2018年はイベント開催なし。

### 3.7.4 デザイン・シンキング委員会

「デザイン・シンキング(デザイン思考)」の概念を扱う委員会。デザイン・シンキングとは、新たなアイデアやイノベーションを生むプロセスに関する方法論であり、ビジネスやサービスの立ち上げにデザインの発想を持ち込んだ考え方である。

委員長

マニグリエ真矢(有限会社エクスプリム)

2018年はイベント開催なし。



### 3.7.5 税制・規制委員会

日本における起業・事業活動に対する税制面・法規制に関するあらゆる情報を提供する。

#### 委員長

フィリップ・ダルペラ (フィリップ・ダルペラ外国法事務弁護士事務所)

2018年にはイベントを6回開催した。

#### ▶ 3月15日

税制・規制委員会 Japanese and European Data Protection Reforms: How to Comply? ゲストスピーカー: 生田美弥子 (北浜法律事務所 パートナー)、アリックス・ダルジュン氏 (北浜法律事務所 フォーリンアトニー)

#### ▶ 5月28日

税制・規制委員会 Corporate governance reforms: making Japanese corporations great again? Understanding how Japanese Boards of Directors function helps you close deals ゲストスピーカー: ゲルハート・ファソル (GMOクラウド株式会社、理事会理事)

#### ▶ 7月13日

税制・規制委員会 Complying with rules on personal data transfers: How to navigate the maze? ゲストスピーカー: ジャン・ドゥニ マルクス (ペーカー&マッケンジー アソシエート)

#### ▶ 9月12日

税制・規制委員会 Can Shinzo Abe break a record? (Fondateur du Nagatacho Forum) ゲストスピーカー: 原田弾 (永田町フォーラム 創設者)

#### ▶ 12月18日

税制・規制委員会 法律相談会 マグダ ヤスモト、ソフィ・カレイ、フィリップ・ルジェイス (デロイト、タジフランス)

#### ▶ 12月19日

税制・規制委員会 経済見通し ゲストスピーカー: フィリップ・ダルペラ氏 (税制・規制委員長)、ティエリー・ドゥジェヌヌ氏 (デロイトトウシュートマツ)、ステファニー・ランジュ=ゴマン (在日フランス大使館 財務参事官)、ラルー・ダーレン (デロイトトウシュートマツ)、フィリップ・アヴリル (BNPパリバ会長)



### 3.7.6 スポーツ競技会委員会

フランス企業が日本で行われるスポーツイベント、2019年ラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピック、パラリンピックに対して、ロビー活動やビジネス・チャンスを獲得できるような経済的枠組みを設定することである。

#### 委員長

アントニー・グルメル (バロン・フィリップ・ド・ロスシルド・オリエント 代表事務所)

2018年には、講演会1回とネットワーキングイベントを1回開催した。

#### ▶ 9月11日

スポーツ競技会委員会 講演会 ゲストスピーカー: セバスチャン・ヴァゼルス氏 (パリ・サンジェルマン)

#### ▶ 9月19日

19時半~21時 ネットワーキング イベント 八芳園 スポーツ競技会委員会2019 Rugby World Cup - One Year to Go



### 3.7.7 ビジネス デベロップメント委員会

日本市場への進出・拡大を目指す中小企業へのアドバイスや情報を提供する。

#### 委員長

エマニュエル・マーシャ (カムソ・ジャパン株式会社)

2018年はイベントを1回開催した。

#### ▶ 6月25日

アメリカ商工会議所共催イベント A Conversation With IHG/ ANA Hotels Group Japan ゲストスピーカー: ハンス・ヘリジャー (IHG ANAホテルズグループジャパン)

### 3.7.8 革新技术・情報委員会

在日フランス商工会議所の会員に対し、最新の革新技术動向を紹介する。

#### 委員長

ピエール・ムスティエール(ブイグ・アジア株式会社)

2018年はイベントを3回開催した。(見学会1回、講演会2回)

- ▶ 4月13日  
France: the state of innovation in a start-up nation ゲストスピーカー: フランク・アビシラ (MOFSコンサルティング) <sup>(1)</sup>
- ▶ 10月2日  
ギリシャ商工会議所共催イベント The Future of Japan's FinTech 司会 トニー・アンドリティス (ヒューグ ハブバード&リード、ギリシャ商工会議所)、タニザワススム、イガラシチカ (西村あさひ法律事務所)  
ゲストスピーカー: ポール・シャンブマン (マネーツリー、創設者)、クリスティーヌ・リー (弁護士)、スピリドン・メンツザス (みずほ証券元ディレクター、フィンテック起業家) アンリ・オカモト (弁護士)、ジェフ・ウエントウォース (カーブグリッド共同創設者)、クリスティーナ・ヤスダ (InternetBar.orgディレクター、アクセンチュアコンサルタント)
- ▶ 12月7日  
ファナック工場見学

▼(1)



▼(2)



▼(3)



### 3.7.9 ヤングプロフェッショナル委員会

日本で働く若手フランス人ビジネスマンと、日本人・その他の外国籍の若手ビジネスマンとの交流イベント等を企画する。

#### 委員長

セバスチャン・バエス(ダッソー・システムズ株式会社)

2018年はイベントを1回開催した。

- ▶ 7月31日  
ヤング・プロフェッショナル ネットワーキング・パーティー (ヴィラ東京) <sup>(2)</sup>

### 3.7.10 マーケティング・流通委員会

パネルディスカッション等を開催し、日本の流通やマーケティングの実情に関する問題を討議する。

#### 委員長

フィリップ・ジャルダン(ピエール ファーブル ジャパン株式会社)

2018年はイベントを1回開催した。

- ▶ 7月25日  
Life is like a box of chocolates ... and so is business ゲストスピーカー: アンドレ・ツィーママン (リンツ&スプリルングリジャパン)

### 3.7.11 人材開発委員会

(活動内容については48ページ参照)

### 3.7.12 ウーマン・イン・ビジネス委員会

女性の活躍とダイバーシティを推進する新しい委員会。活躍する女性や企業で導入されている人事対策を紹介するイベントを開催する。

#### 委員長

富永典子(パリ商工会議所日仏経済交流委員会)

2018年はイベントを2回開催した。

- ▶ 2月6日  
「女将が経営する宿泊特化型ホテル: 東横インの海外展開と女性支配人の活躍」ゲストスピーカー: 黒田麻衣子 株式会社東横イン 代表取締役社長
- ▶ 3月15日  
ウーマン・イン・ビジネス委員会 在日カナダ商工会議所と共催イベント ゲストスピーカー: イザベル・バジュール - ベスナイノー (マギル大学 MBAジャパン 教授)

## 3.8 賛助会員向けイベントの開催

在日フランス商工会議所は企業のリーダー、著名人、オピニオンリーダーをゲストに招き、賛助会員向けの特別イベントを開催した。

2018年の主なイベントは以下の通り。

- ▶ 3月7日  
昼食会 ゲストスピーカー：クリストフ・ウェバー（武田製薬株工業株式会社 代表取締役社長CEO）<sup>(1)</sup>
- ▶ 4月18日  
昼食会 ゲストスピーカー：フロリアン・コールバッハ（エコノミスト コーポレート ネットワーク、北アジアティレクター）<sup>(2)</sup>
- ▶ 9月5日  
賛助会員特別見学会 ショーメ展「ショーメ 時空を超える宝飾芸術の世界ー1780年パリに始まるエスプリ」<sup>(3)</sup>

▼(1)



▲(1)



▲(2)



▲(3)

## 3.9 フォーラム

在日フランス商工会議所100周年記念 フランス・北海道 経済フォーラム「進化する観光と食」



3月8日、日仏の経済相互交流の一貫として、フランスと北海道の重要な産業である観光と食の分野における、日仏の新たな動きを紹介するフランス・北海道 経済フォーラムに、150名が参加した。

後援：在日フランス大使館、経済産業省北海道経済産業局、北海道、札幌市、フランス観光開発機構、(公社)北海道観光振興機構、札幌商工会議所、(公財)札幌国際プラザ札幌、札幌アリアンス・フランスーズ、札幌日仏協会、DMOさっぽろMICE(さっぽろMICE戦略推進有限事業組合)

会場：京王プラザホテル札幌、B1Fプラザホール

登壇者は、次の通り。在日フランス商工会議所 名誉会頭 ベルナル・デルマス氏、在日フランス大使館 ローラン・ビック駐日フランス大使、岸光右 札幌市副市長

プレゼンテーション(事例報告)：フランス観光開発機構 在日代表フレデリック・マゼンク氏、日本ミシュランタイヤ株式会社 会長 ベルナル・デルマス氏、ヴァンシ エアポート 社長 ニコラ・ノットバー氏、VINCI Airports Japan株式会社 マネージング ディレクター エマヌエル・ムノント氏、鶴雅ホールディングス株式会社 代表取締役社長 大西雅之氏、株式会社クラブメッド 代表取締役社長 スチュワート・ド・ブルゴーニュ氏、バリエール グループ ホテル開発ディレクター ステファン・バグダサリアン氏、株式会社 北海道ガーデン街道 代表取締役社長 林克彦氏、クリプトン・フューチャー・メディア株式会社 代表取締役 伊藤博之氏、DFSグループリミテッド 代表ニコラ・ヴィレジェ氏、西山製麺株式会社 代表取締役社長 西山隆司氏、サッポロビール株式会社 上席執行役員 北海道本社代表 生方誠司氏、ボロレ・ロジスティックス・ジャパン株式会社 営業部 フード アンド ビバレッジ ビジネス デベロップメント マネージャー、坂本直規

フランス・福岡(九州) 経済フォーラム「食のイノベーションとグローバル化」



5月22日、福岡(九州)とフランス間の双方向のビジネス交流の促進を図るため、アジアの中核都市である福岡の電気ビル共創館を会場に「フランス・福岡(九州) 経済フォーラム」を開催、150名が参加した。

共催：福岡商工会議所、福岡観光コンベンションビューロー

後援：ボルドー市、在日フランス大使館、経済産業省九州経済産業局、福岡県、福岡市、福岡地域戦略推進協議会、九州経済連合会、九州経済調査協会、ジェトロ福岡、福岡フードビジネス協議会、九州ニュービジネス協議会、福岡国際ビジネス協会、アンスティチュ・フランセ九州、九州フランスパートナーズクラブ

協賛：ボロレ・ロジスティックス・ジャパン株式会社、日本エア・リキード株式会社

パネルディスカッション：

- モデレーター：福岡市MICEアンバサダー、国際イノベーションマネジメント協会 エグゼクティブ・ディレクター、イアン・ビトラン氏
- LVMHモエヘネシー・ルイヴィトン・ジャパン株式会社 代表取締役社長 ノルベール・ルレ氏
- Japan Exquisite株式会社 代表取締役 ルイ・ロブション氏
- 株式会社ファームプロ 社長 竹内健司氏
- 株式会社山口油屋福太郎 代表取締役副社長、ボルドー商談会 主宰 田中洋之氏
- JEXPO 代表 堺武志氏

## 3.10 共催イベント

イベントの33%は、パートナー団体とのジョイントイベントとして開催

- 在日の欧州商工会議所、在日アメリカ商工会議所
- 東京商工会議所
- 関西フランス会 (CFK) (59ページ参照)
- 日仏経済交流会 (パリクラブ) (58ページ参照)
- 日仏会館
- フォーラム・フォー・コーポレート・コミュニケーションズ (FCC)
- クラブVIE
- ファム・アクティブ・ジャポン (FAJ)
- 日仏工業技術会



八十八ヶ所遍路  
ミュリエル・ジョリヴェ氏(上智大学教授)クラブVIE  
2月7日



アメリカ商工会議所との共催イベント  
安淵聖司氏 (VISAジャパン 代表取締役)、  
スティーブン・プレイスティン氏 (リランサ、創設者)  
4月3日



フランス、ベルギー、スイス商工会議所合同  
ゴルフトーナメント  
5月25日

## 3.11 東京以外のイベント

2018年、大阪、京都、神戸(兵庫)を中心に関西デスクが開催した13のイベントに、570人以上が参加した。ネットワーキングや企業見学、学生を対象にした企業紹介イベント、100周年記念パーティーなど様々な形式のイベントを開催した。

- ▶ 1月17日  
在日フランス商工会議所&CFK 2018年新年会  
場所: 旬穀旬菜(大阪)
- ▶ 2月28日  
レストラン「Café de Paris (カフェ・ドゥ・パリ)」15周年パーティー  
(神戸)
- ▶ 4月11日  
フランスで事業を拡大するために必要なビザ取得に関するセミナー(大阪)
- ▶ 4月24日  
ボンジュール フランス京都
- ▶ 4月27日  
ボンジュール フランス京都 - フレンチカフェ「オーバカナル」での特別ディナー(京都)
- ▶ 5月11日  
ボンジュール フランス・イベント「ギャングット」  
場所: アンスティチュ・フランセ京都
- ▶ 6月13日  
人材イベント「グローバル企業フェア2018」  
場所: 大阪大学
- ▶ 7月25日  
ネットワークイベント « Découverte de la Martinique et rencontre avec l'association J'IMAGINE JAPAN »,  
場所: ホテルプラザ大阪(大阪)
- ▶ 9月26日  
ネットワークイベント「朝食ランチ、スイスホテルに着任した新GMの紹介」  
場所: スイスホテル
- ▶ 10月24日  
100周年記念パーティー  
場所: ポートピアホテル(神戸)
- ▶ 11月1日  
セミナー「フランスへの進出、また進出の際の支援 by CEFIRコンサルティング」  
場所: ナレッジ・キャピタル
- ▶ 11月22日  
企業見学: エアバス・ヘリコプター、菊正宗の工場見学(共催: 神戸商工会議所)
- ▶ 12月12日  
セミナー「フランス企業での仕事、在日フランス商工会議所の活動とは」  
場所: 神戸大学





## 3.12 ボンジュール フランス

「ボンジュール フランス」は、2015年から始まった在日フランス商工会議所主催のイベント。東京、京都、大阪で文化的、商業的なB to Cイベントとして開催している。今年は、伊勢丹新宿店、ジェイアール京都伊勢丹店のみならず、阪急うめだ本店でもフランスブランドを紹介した。

「ボンジュール フランス」の目的は、市場リサーチや日本における拠点設置・進出、多様で独創的なコミュニケーション手法によって、フランスブランドを支援することである。このオペレーションを通じて、私たちは、日本の消費者の皆様へ、フランスブランドの斬新な一面やトレンド、そして親しみやすいイメージを提供することを実現することである。

また、「ボンジュール フランス」は在日フランス商工会議所における、唯一のB to Cオペレーションであることも重要な点である。

### 2018年のイベント報告 – 2018年4月4日～5月11日

2018年は「フランス、モナムール(愛しのフランス)」をテーマに据え、フランス流の心豊かな暮らしのアイデアを日本の皆様と分かち合うことを目的に掲げた。



### 3.12.1 ショッピングイベント

第4回目の開催となった今年は、百貨店との提携が拡大した。在日フランス商工会議所は、伊勢丹新宿店、ジェイアール京都伊勢丹、阪急うめだ本店に新たにブランドを紹介した。

31のフランスブランドが、各百貨店の“フランス系フェア”に出展した。出展ブランドの一部は、伊勢丹フランスウィークと同時期に商務部が主導するB to Bミッションに参加した。

伊勢丹新宿店では、6階と7階の催物場にクリエイティブスタジオ「La BOITE」がビジュアルを担当したボンジュールフランス特別装飾パネルが展開され、広報誌「ブランドマガジン」「イベントマガジン」の合冊本を6,000部配布した。

フランスブランドによる百貨店フランス系フェアへの参加は、来場者にセミナー形式でフランスの技の世界を発見頂ける機会でもある。

特筆すべきこととして、ボンジュールフランスが過去にご紹介したブランドがその後も出店を続けているケースも数多くあり、日本市場での中長期的なブランドの発展に繋がっている。

(ボンジュールフランスが2015年からご紹介したブランドのうち、約15社が2018年の伊勢丹新宿店「フランスウィーク」及びジェイアール京都伊勢丹「フランス展」に出展している。)

全体の売り上げ実績も良好に終わり、ボンジュール フランスは2019年も日本の百貨店との提携を深めている。

### 3.12.2 イベント

2018年、イベント数はさらに増え、「ボンジュール フランス」イベント参加者は1,112名に上った。(日本人87%、外国人13%)

#### 東京 イベント数

- インフルエンサー、プレス、オープニングイベント 3
- カルチャーイベント 2
- ガストロノミーイベント 1
- ライフスタイルイベント 2

#### 京都 イベント数

- カルチャーイベント 1
- ガストロノミーイベント 1

#### 大阪 イベント数

- ガストロノミーイベント 1

合計 11



### 3.12.3 コミュニケーション

コミュニケーションオペレーションは、いくつかの意思決定によって昨年よりも縮小された。

- ▶ My Little Boxとの連携により、伊勢丹新宿店フランスウィークおよびジェイアール京都伊勢丹フランス展に出展する新たなブランドと日本にすでに拠点のあるブランドも含め、それぞれの認知度を高める目的で、インフルエンサー、プレスイベントを実施。
- ▶ フランス大使公邸における、「ボンジュール フランス」のオープニングイベントの開催。
- ▶ オンラインプロモーション構想及びイベントパートナーとの相互プロモーションの更なる強化
- ▶ ボンジュール フランス公式サイトのリニューアル。訪問数：ユニークビジター32,000人(2017年比+14%)
- ▶ Facebookコンテンツの強化:3,178フォロワー(2017年比+35%)
- ▶ エールフランスとの連携により、公式サイト上での抽選会を開催：1,800件の応募
- ▶ ボンジュール フランス 広報誌「ブランドマガジン」「イベントマガジン」50,000部配布(配布先：伊勢丹新宿店フランスウィーク期間中、My Little Box、ELLE SHOP ONLINEほか、イベントパートナーネットワーク等)

### 3.12.4 マガジン

「ボンジュール フランス」は、ブランドマガジン第2版を発行した。発行部数は50,000部、58のフランスブランドとそれぞれの関東、関西の店舗データを掲載し、各ブランドの職人技や、ブランドの核であるDNAを紹介することを目的としたマガジン。マガジン内のエディトリアル記事は朝日新聞出版社ご協力のもと、そしてマガジンデザインはジュリアン・ルック氏協力のもと製作された。





### 3.12.5 パートナーシップ

ボンジュール フランス2018では数多くのパートナー企業・団体様に協力を賜った：

- ▶ ショッピングパートナー：三越伊勢丹ホールディングス
- ▶ カルチャーイベントにご協力頂きました皆様：ニコラ・ルフヴル様（造形作家）、ジュリエット・アルマネ様（歌手）、ポッションエッズ、レストラン ピエール・ガニエール、ピエール・エルメ、ル・パピエ・フェ・ド・ラ・レジスタンス
- ▶ ガストロノミーイベントにご協力頂きました皆様：ストウーリア、コントワール・デュ・カカオ、デュキュルティ、ムーラ、パン・エ・トラディッション、ペリエ ジュエ、サヴァンシア、テタンジェ、サン・ジェロン
- ▶ ライフスタイルイベントにご協力頂きました皆様：アルカン、ボンヌママ、ブリオッシュドレー、クリストフル、ジアン、ジャンナッツ、ローラン・ペリエ、ラ ロッシュ ポゼ、オランジーナ、クオパティス、レペット、ティファール、ヴァローナ
- ▶ フランス発見「宝探し」（神楽坂）にご協力頂きました皆様：アグネスホテル、バー ア シードル レストラン、ボングウ、ルグドゥム・ブション・リヨネ、ザ・ロイヤルスコッツマン、アルパージュ、メゾン マム、ベルキューブ、グロワ・エ・ナチュラル、ヴァル・ド・ランス、ジャンラン、リカール、リサとガスパール（ソニー・クリエイティブプロダクトのライセンス）、アトゥー・フランス、欧明社、神楽坂サポーターズ

- ▶ クララ・ボダン様（ボンジュール フランス2018大使）

- ▶ その他イベントオペレーションでご協力頂きました皆様：在日フランス大使館、アンスティチュ・フランセ、フランス地方商工会議所、フランス貿易投資庁-ビジネスフランス、エールフランス、クレディ・アグリコル銀行、バカラ、ボニーダヴリール、ぐるなび、EPV（無形文化財企業）、ブジョー・シトロエン・グループ、ポメリー、サヴァンシア、ロリアル、エビアン、マイリトルボックス、エル・ジャポン、ラ・ボワット、フランス現地地域商工会議所

### 3.12.6 ボンジュール フランス ポップアップイベント

2018年10月13日（土）・14日（日）、ボンジュール・フランスはWEC（世界耐久選手権）とコラボレーションし、カーレース「富士6時間耐久レース（於 富士スピードウェイ）」イベント内にフランスを感じて頂ける空間「ヴィラージュ ボンジュール フランス（約1,600㎡）」を展開した。2日間にわたり各出展者は来場者を迎え、ボンジュールフランスは歌や音楽、クイズゲーム、大抽選会などで会場を盛り上げた。



## 3.13 100周年事業



2018年、在日フランス商工会議所は設立100周年を迎え、一年を通じて100周年記念プロジェクトを実施した。日仏経済界に属するフランス企業や日本企業の存在価値を高めることと、日本とフランスの経済関係をますます強固にすることを目的に様々なイベントが開催された。

11月に東京・日経ホールで開催した「日仏ビジネスサミット」には800人が集い、100周年記念事業のフィナーレを飾った。

100周年イベントの実績：

**1600名**  
の参加者

**95%**  
参加者満足度

**14回**  
プレゼンテーション

**2回**  
グルメイベント

**100名**  
トップスピーカー

**100社**  
フランス中小企業

**9回**  
100周年記念ディナー

**100名**  
フランス全国弁護士会派遣団

**4つ**  
のフランス地域圏が参加

**1冊**  
100周年記念書籍発刊

### 3.13.1 2018年 在日フランス商工会議所創立100周年記念イベント



▶ ワイン&スピリッツテイスティングパーティー TRUNK HOTEL



▶ セミナー「日仏自動車業界の未来:アーバン モビリティ」 八芳園



▶ セミナー「共にエネルギー分野の日仏協力の未来」 駐日フランス大使公邸



▶ スタートアップイベント« Meet & Connect » 日経ビル スペースニオ



▶ セミナー「2020年以降の小売・不動産業界」  
LVMH モエ ヘネシー・ルイ ヴィトン・ジャパン 株式会社



▶ 100周年記念パーティー TRUNK HOTEL



▶ 100周年記念ディナー



▶ フランス中小企業100社3日間のプログラム



### 3.13.2 日仏ビジネスサミット

2018年11月19日(月)日経ホールにおいて、年間を通して開催した数々の100周年記念イベントのフィナーレとなる、日仏ビジネスサミットを開催した。

日仏ビジネスサミットは、世界第三位の経済規模を持つ日本で活躍するフランス企業が参加し、様々な分野についてプレゼンテーションを行った。

未来への投資に関心を持つ大企業や中小企業、有名ブランド、そしてスタートアップ企業が一堂に会し、交流を深めた。

800名のビジネスリーダーが、40名の豪華スピーカー陣と共に、日仏のビジネスと経済の未来についての洞察を共有した。

サミットで取上げたテーマ：

- 経済動向
- 小売
- 地政学
- 新エネルギー
- 輸送
- 社会とビジネスの未来
- セキュリティと防衛
- イノベーション

開会挨拶では、経済・財務大臣付副大臣、アニエス・パニエリュナシェ氏と、経済産業省副大臣の関芳弘氏が、これまでの1世紀にわたる協力関係とその成果を振り返り、日仏両国の未来の創造に向け講演を行った。

午後の、6つの分野別プレゼンテーションでは、日仏両国のエキスパートや企業の代表が、それぞれの専門分野についてパネルディスカッションを行った。

ビジネスサミットはまた、様々な業界のビジネスリーダー達の出会いと交流の場となった。

在日フランス商工会議所とビジネスフランスが、3日間にわたって共催した「100周年記念 日仏ビジネスミッション」では、日本市場に関心を持つフランス企業そして、フランスから4つの地方自治体が参加した。

日仏ビジネスサミットにあわせ、日本との関係強化を目指し、約100名からなるフランス全国弁護士会派遣団が来日した。

午後の「Meet and Connect」セッションでは、未来の投資家達に向け、日仏のスタートアップ企業35社が自社のプロジェクトを紹介した。

ビジネスサミットの翌日、渋谷のTRUNK HOTELで開催した「在日フランス商工会議所創立100周年記念パーティー」には200名が参加し、100周年とビジネスサミットの成功を共に祝った。

在日フランス商工会議所は本年、昨年の100周年記念イベントの開催を新たな出発点とし、「日仏ビジネスリーダーズフォーラム2019」の開催を計画している。



約40名のパネリストが登場した。

- ▶ アニエス・パニエリユナシェ 氏      経済・財務大臣付 副大臣
- ▶ 関 芳弘氏      経済産業副大臣
- ▶ ノルベール・ルレ 氏      LVMH モエ ヘネシー・ルイ ヴィトン・ジャパン 株式会社 代表取締役社長
- ▶ 西川 廣人氏      日産自動車 株式会社 代表取締役 最高経営責任者
- ▶ ルイ・シュバイツァー 氏      ルノー 名誉会長 イニシアチブ・フランス 会長
- ▶ 滝久雄氏      株式会社ぐるなび 代表取締役会長
- ▶ 中島 厚志氏      独立行政法人 経済産業研究所 理事長
- ▶ オーギュスタン・ドゥ・ロマネ 氏      パリ・ユーロプラス会長
- ▶ シリル・デュモン 氏      ボロレ・ロジスティクス アジア・太平洋地域CEO
- ▶ ティディエ・オロー 氏      エンジー 上級副社長
- ▶ フランソワ・アプリアル 氏      エア・リキード グループ アジアパシフィック エグゼクティブ・バイスプレジデント
- ▶ ギョーム・ジェロンドー 氏      ダッソー・システムズ バイスプレジデント、戦略的ビジネスディベロップメント日本担当、
- ▶ 森 浩生氏      森ビル 株式会社 取締役副社長執行役員
- ▶ ジャン＝クロード・ヒバー 氏      LVMHウォッチメイキングディヴィジョン 会長
- ▶ 川名浩一氏      日揮 株式会社 副会長
- ▶ 松崎 正年氏      コニカミノルタ株式会社 取締役会議長
- ▶ ニコラ・ノートバル 氏      ヴァンシ・コンセッションズ CEO ヴァンシ・エアポート 会長兼社長
- ▶ 兼原 信克氏      内閣官房副長官補 国家安全保障局 次長
- ▶ パスカル・スーリス 氏      タレス 上級副社長 インターナショナルデベロップメント
- ▶ パトリック・アルテュス 氏      ナティクシス チーフエコノミスト・執行委員会委員
- ▶ 山本 良一氏      J.フロントリテイリング 株式会社 代表執行役社長
- ▶ 田中 達也氏      富士通 株式会社 代表取締役社長
- ▶ 大野 輝之氏      公益財団法人 自然エネルギー財団 常務理事
- ▶ 正木 靖氏      外務省 欧州局 局長
- ▶ 野田 由美子氏      ヴェオリア・ジャパン 株式会社 代表取締役社長
- ▶ ジャン＝バティスト・クモー 氏      マッキンゼー・アンド・カンパニーパートナー

# 4. 広報・事業推進部

## 4.1 総括

20181年は、複数の大型プロジェクトを実施

広報・事業推進部の活動目的は、日仏経済界に有益で価値の高い最新情報を常に供給すること、会員のコミュニケーションやプロモーション活動を支援するサービスを充実させること、そして在日フランス商工会議所並びに会員企業を幅広くPRすることである。

2018年、広報・事業推進部は、百周年史やコーポレートギフトカタログの発行、ウェブサイトのリニューアルなど会員企業のプロモーション、コミュニケーション活動をサポートするための複数の大型プロジェクトを実施した。





## 4.2 雑誌「フランス・ジャポン・エコー」

雑誌「フランス・ジャポン・エコー」は、唯一の日仏2カ国語で書かれたビジネス雑誌。毎号、日本経済の最新ニュースを取り上げる。

2018年、雑誌「フランス・ジャポン・エコー」はセクター別の4つのテーマを取り上げた。

- ▶ 153号 味覚の最高峰(グルメ)
- ▶ 154号 エネルギーリミックス(環境)
- ▶ 155号 都市計画:狂乱の2020年代(不動産)
- ▶ 156号 モビリティ:加速する日本企業(自動車)

雑誌「フランス・ジャポン・エコー」154号、155号、156号は、100周年記念プロジェクトとして開催されたセクター別セミナーのテーマを各号取り上げ、それぞれのイベントの様子を交え、解説した。

近年の日仏経済界の発展において日本企業の参加が増え、日本人の存在が高まったことにより、雑誌「フランス・ジャポン・エコー」は2013年以来、フランス語・日本語のバイリンガル版として発行している。

結果、フランス・ジャポン・エコーは多くの読者に親しまれ、在日フランス商工会議所の知名度を高めるツールとして今後も新たな試みが続けていく。同誌の記事は、CCIFJウェブサイトにてオンライン版として閲覧可能である。



## 4.3 会員名簿



在日フランス商工会議所会員名簿は、国内外の企業会員、個人会員の情報や、国内のフランス政府及び関係機関、ジャーナリストやフランス関連団体の情報など日仏経済界のあらゆる情報を掲載している。

賛助会員と正会員には1ページ、準会員には1/2ページの会員情報ページが割り当てられ、各会員企業の住所や連絡先、事業内容が掲載されている。発行部数は1900部で、会員をはじめ日仏経済界で幅広く配布されている。

# 4.4 装丁本

## 100周年史を発行

在日フランス商工会議所は不定期で、クリスチャン・ポラック著書の豪華装丁本「日仏交流史シリーズ」を発刊している。2018年、設立100周年を記念し、100周年史「1918-2018 日仏企業百年史」を発行した。1918年に設立された在日フランス商工会議所の歴史を通じて、フランス企業が日本でどのように発展を遂げたのか、また日本企業がどのようにフランス経済界と結びを深めたのか解説する。同書には、ポスターや広告、書簡や契約書、新聞の切り抜きなど企業から提供された貴重な資料を掲載している。



2018年11月に発行した「1918-2018 日仏企業百年史」は、11月19日に東京・日経ホールで開催された100周年イベント「日仏ビジネスサミット」において、初めて発表された。広報・事業推進部は、同イベントの会場で、筆者クリスチャン・ポラック氏のサイン会を実施した。



« 1918-2018, un siècle d'histoires d'entreprises au Japon 日仏企業百年史 »



## 「日仏交流史」シリーズ



2001年発行  
絹と光  
～日仏交流の黄金期～  
(江戸時代-1950年代)



2005年発行  
筆と刀  
～日本の中のもうひとつのフランス～  
(1872-1960)



2014年発行  
百合と巨筒  
～見出された図像と書簡集～  
(1860-1900)

## 4.5 ウェブサイト

CCIFJウェブサイトは、日仏経済界の情報ポータルサイトとして、さらにその機能を拡充する。2018年、最高のパフォーマンスを記録

1年を通じて会員企業の最新ニュースや、在日フランス商工会議所関連の情報、さらには日仏経済界の動向を記事として編集し、ウェブサイトにて配信してきた。また2018年に組まれた幾つかの特集においては、専門的な知識を有する会員企業の力を借りて、専門性の高い記事を掲載した。

2016年、サイト上でテクニカルな問題が発生し、その影響で一時訪問者数が落ち込んだ。その後徐々に月間訪問者数やページビューなどパフォーマンスが回復し、2018年はCCIFJウェブサイトの歴史上、最も高いパフォーマンスをあげた年となった。

**2018年ウェブサイト訪問者数: 309,071人**

2017年比28,1%増

**2018年ページビュー数: 641,495**

2017年比20,6%増

2017年より在外フランス商工会議所連合(本部)は、グローバルウェブサイトのリニューアルプロジェクトを開始した。このプロジェクトはウェブサイトをスタイリッシュなデザインに変更し、スマートフォンでの閲覧がはるかに向上させるために実施され、2018年末に新しいウェブサイトへの移行が行われた。



## 4.6 ニュースレター

「ニュースレター」は2018年、代表的なコミュニケーション・ツールの一つとして更なる成長を遂げた。CCIFJウェブサイトに掲載された記事をまとめ、ニュースレターとして配信している。フランス語と日本語の2か国語で配信される「ニュースレター」は、さらに雑誌「フランス・ジャポン・エコー」の記事やイベントのカレンダーなどを編集し、フランス語版は月2回、日本語は月1回配信される。2018年12月31日時点で、フランス語版は1245人(2017年は1136人)、日本語版は1872人(2016年は1492人)が「ニュースレター」を受け取っている。一年で、3117人が商工会議所が配信するニュースを読んでいる計算だ。

この増加は、会員数の増加に伴いコンタクト数が増えたという理由や、ウェブサイトにわかりやすい呼び込みのためのバナーを設置した効果、フェイスブックなどで呼びかけたキャンペーン効果など、複数の要因が挙げられる。

2018年は、31のニュースレターが送信された。フランス語版は32,58%、日本語版29,16%の人がニュースレターを平均的に開封して、内容を確認している。

100周年を記念し、これまでの日仏経済界の発展を象徴する貴重な資料(画像)14枚をシリーズでCCIFJウェブサイトに掲載し、その後ニュースレターにて配信した。



## 4.7 ソーシャルネットワーク

### フェイスブック

2012年にフランス語版フェイスブックを開設した。デジタル・コミュニケーションのコア・ツールであるCCIFJウェブサイトの情報を拡散するための重要なソーシャルネットワークとしての役割を果たしている。日仏経済界の壁を越えて、多くの層にリーチすることが出来る。2015年には日本語版が誕生した。

2018年は、2016年に続きフォロワー獲得のためのプロモーションに力をいれた。リーチするターゲットを広げたり、フォロワーの関心を引く内容を増やしたり、マーケティングの観点から、フェイスブック戦略を見直した。その結果、予想を上回るフォロワー数の増加を達成した。

フランス語版、日本語版のフォロワー数の合計は、2018年末で17,120人。2016年(15,558人)比で10%に増加した。



### リンクトイン LINKEDLIN

人材開発部と広報・事業推進部は、リンクトインを共同で運営している。広報・事業推進部はリンクトインを、SNS上で最新ニュースを拡散する目的でフェイスブックの補足的ツールとして活用し、同SNSのユーザーに情報を提供している。研修・セミナーやイベントなどに関する最新情報が、同ツールを利用する2,897のコンタクトに共有されている。このコンタクト数は、昨年度比で45%増加した。フェイスブックが幅広い層にリーチできるのに対し、リンクトインはビジネスマンを中心にターゲットングすることが可能。今後は、同ターゲットに絞ったコミュニケーション活動も積極的に行っていく。

### ビデオ

在日フランス商工会議所は、ビデオを利用したコミュニケーションにも力を注いでいる。2018年は、各サービスのハイライトを記録したビデオを25本を制作した。公開されたビデオはCCIFJウェブサイト、またはYouTubeで常時閲覧することができる。2017年、YouTubeでは合計で6675回再生され、2017年比(3396回)で大幅に増加した。

2018年に公開されたビデオ:「フレンチビジネスアワード2018」、ボンジュール・フランス総集編、100周年プロジェクト予告ビデオ、ガラ・パーティー東京2018、グローバル・マネージャー・プログラムPRビデオ、日仏ビジネスサミット、フランス中小企業100社ミッションなど



## 4.8 エブド・ドゥ・ジャポン

「エブド・ドゥ・ジャポン (l'Hebdo du Japon)」は、日本のメディアが伝えた最新ニュース、フランス関連のニュースからフランス人駐在員が最も興味を持ちそうなニュースをピックアップしフランス語に翻訳、メールで送信する有料週刊メールマガジン。2018年に18年目を迎えた同サービスは、毎週5~6のフランス語の記事からなり、政治、企業、経済、工業、サービス、社会、文化など様々な分野の記事を提供する。尚、本サービスは在日フランス大使館経済部・ビジネス・フランス、広報部と共同で行っている。

在日フランス商工会議所は 新規定期購読のプロモーションを一年を通して行っている。



## 4.9 IT関連活動

2018年5月、会員企業へ配信するニュースレターやイベント情報メールの配信の効率化を図るため、Oximailingシステムを導入した。配信準備の時間が大幅に短縮されたほか、ニュースレターが正確に配信者に届くようセキュリティ強化など多くの改善店が見られた。

## 4.10 その他のプロジェクト

広報・事業推進部は、会員企業が参加できるコミュニケーション・プロモーション関連のプロジェクトを実施している。プロジェクトを通じて、会員企業がビジネスを展開する上で必要なネットワークを提供する。



### パドカレ&ALL(Autour de Louvre-Lens)コラボレーションの記者会見

2018年3月、フランスのオー・ドゥ・フランス商工会議所が関わるプロジェクト ALL (アウトゥール・ドゥ・ルーヴル・ランス) が、日本のファッションブランド「pas de calais (パドカレ)」とコラボレーション企画を日本各地で実施した。その記者会見を東京ミッドタウンで開催し、プレスのコーディネートを行うことでコミュニケーション支援を行った。このプロジェクトには、エールフランス航空が後援しており、その他の会員企業も参加した。



### 映画「セラヴィ」プロモーション、フランスのウェディングを再現

フランス映画「セラヴィ」のプロモーションの支援サービスを行った。フランス郊外の結婚式をテーマにした同映画をPRするため、都内で開催されたウェディング関連イベント「Tokyo Wedding Showcase」にて、フランス式のウェディングを再現したブースを制作するためのコーディネートを行った。フランス人フラワーアーティストであるシリル・ルヌーが運営する「アウトゥール・ドゥ・フルール」やフォーシーズンズ、アルクジャパンなど会員企業が同プロモーション企画に参加した。



### コーポレートギフト・カタログ « So gift, so french » 2018-2019保存版

100周年を祝う記念の年に、広報・事業推進部は「お祝い」に関連するプロジェクトを始動した。お祝いなどに使われるギフトをまとめたコーポレートギフト・カタログ「so gift, so french」を発行した。フランスブランド、もしくは在日フランス商工会議所の会員であるブランド24社が参加した。このカタログは、コーポレートギフトの商品ラインナップを持つ企業や、これからコーポレートギフト用に商品をプロモーションしていきたい企業のプロモーションを支援する目的で実施、9,000部を会員企業を中心に無料で配布した。また、ガラパーティー東京など企業が集まるイベントで、出席者に直接配布した。



### 大分県臼杵市モニターツアー

在日フランス商工会議所の会員である大分県・臼杵市が企画した「フランス人を対象にしたモニター・ツアー」のコミュニケーションサポートを行った。臼杵市内にある国宝の一つ「石仏」を訪れる外国人観光客で一番多い国籍がフランスである。その謎を解き明かすため、2018年10月に10数名のフランス人を招待し一泊二日のモニターツアーを実施した。参加者は、臼杵市内の観光スポットを巡り、地元の郷土料理を味わった。ツアーの最後に臼杵市と意見交換を行い、アンケート調査に答え、改善点など率直な意見を臼杵市側に伝えた。

# 5. 人材開発部

## 5.1 総括

人材開発部は、2018年に20件の人材紹介を成立させた。(会員企業に対して)1日研修を12回開催し125人が参加、ESSECビジネススクールと協力し内容を新しくしたグローバル・マネージャー・プログラムには17人(定員)が参加。その他、新しく「Lunch & Learn」と題した短時間型の研修セミナーをスタートし、第一回には18人が参加した。

**イベント「フランス企業を知る」には、早稲田大学とその他の大学から130人以上が来場。**

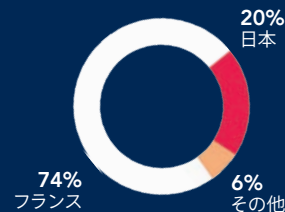
また、第一回開催となる「グローバル企業フェア」を大阪大学で開催し、関西圏の日本人学生に会員であるグローバル企業11社との交流の場を提供した。この企業フェアは大成功を収め、2019年は神戸大学の協力のもと開催する予定。

人材開発委員会は、話題の新しいテーマについて講演会を3回、人事ネットワーキングイベント1回を開催し、120人以上が参加した。(2017年比50%増)

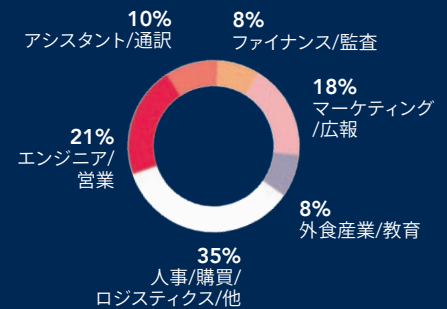
- ▶ 2018年は129件の求人を取り扱った。
- ▶ 664人の新しい求職者・転職希望者がデータベースに登録。251人が登録情報を更新した。

### 人材開発サービスに関する主要データ(2018年)

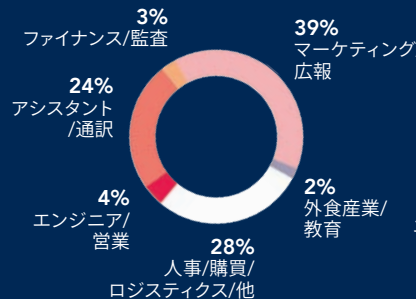
国籍別求職者プロフィール



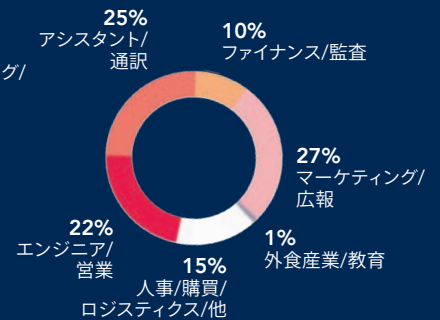
職種別求職者プロフィール



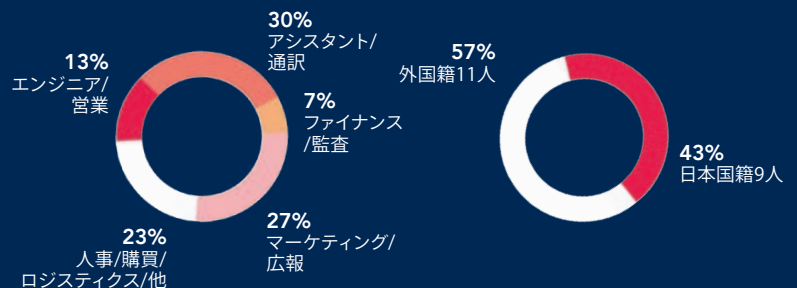
日本人求職者の職種



職種別求人



紹介成立案件の職種・国籍内訳 紹介成立20件



## 5.2 人材紹介

人材開発部は、フランス企業の日本支社における採用支援を目的に15年以上前から活動している。採用支援には主に2つの役割がある。

### 5.2.1 商工会議所の役割

企業向け

- ▶ 会員企業の国内での採用支援
- ▶ 人材ニーズの特定と候補者の紹介
- ▶ 有効求職者1000人以上のデータベースを管理
- ▶ 採用後の企業及び候補者のサポート
- ▶ 「Flash CV」の配信(直近1ヵ月のデータベース登録者一覧)
- ▶ 会員以外の企業への国内での採用支援(2015年5月1日に厚生労働省より職業紹介事業許可を取得)

求職者向け

- ▶ 求職者の就職支援
- ▶ 個別面談の提案
- ▶ 情報提供セミナーの実施

会員企業にとって、フランス商工会議所は一般的な人材紹介会社というより、パートナーという位置付けである。

- ▶ 利用しやすい価格設定(一般的な人材紹介会社と比較し2~3分の一)、完全成功報酬型
- ▶ フランス企業(もしくは外資系企業)で働くことに興味がある人材が登録するデータベース
- ▶ 他の人材紹介会社のサービスを補完する、経験豊富で迅速なサービス

### 5.2.2 2018年成果

求人

2018年は129件の求人を取り扱った。129件のうち20件が採用に至り、成功率は約16%である。しかしながら、企業が内定を出した案件の内40%は、候補者が他社のオファーを受けたことにより採用を辞退する結果となったことを特記しておきたい(2017年は30%)。このことは、優秀な人材は同時に3~4社の内定を受け取るという、人材市場の厳しい状況を反映している。

求められる人材に関しては、日本の労働市場の特殊性から分かるように、一般的に日本人の人材が優先され、特に外部(パートナー、顧客、仕入れ先)との関わりが多いポジションについてはその傾向が強い。代表(オフィス・支店)のポジションや技術的専門性が求められるポジション(エンジニア・ITなど)に関してはフランス人も高く評価され、企業側から求められる場合もある。唯一の難しさは、依然として日本語を高いレベルで習得していることが前提とされ、必要不可欠であることが多い。

求人広告は、企業名非公開で専用サイト([ccifj-emploi.mycv.tech.com](http://ccifj-emploi.mycv.tech.com))に掲載する。

求職者

人材開発部は、主にフランス人及び日本人の求職者登録を受け付けている。(ただし、その他の国籍の求職者登録も可能)

2018年は664人が新規にデータベースに登録。(インターンを除く)

- ▶ 新規フランス人登録者529人 内60%は海外在住
- ▶ 新規日本人登録者135人(新規登録者の30%)

インターンを希望する学生は、特定のフォームを入力することで引き続きデータベースに登録することができる。

### 5.2.3 経済背景

日本の採用市場は非常に難しい状況が続いている。

日本の失業率は2018年にさらに低下し、1月に2.7%だったものが11月には2.4%となった。有効求人倍率は1.62である。更に、ビジネスレベルの英語が話せる日本人が全体の3%であることを考慮すると、フランス企業が日本での採用に一段と苦労していることが理解できる。フランス企業は、知名度があり安定性で定評のある日本企業と、報酬の面で魅力的と言われる（また、グーグル、アマゾン、アップル等、よく「ミレニアル世代」の憧れとして知られている）アメリカ企業とのまともな競争にさらされている。人材開発部で扱った求人、企業が内定を出した案件の内40%は、候補者が他社のより良い条件のオファー（特に報酬面）を選んだ為に、内定を辞退する結果に至った。

日本語を話さない求職者は、選考過程において高い日本語のレベルが重要な選考基準であることから、職を見つけることに苦労している。また、雇用者側も少しずつ変化しつつあるものの未だ保守的で、日本人を好む傾向にある。しかしながら、日本語能力が高い外国人人材のニーズが高まっていることが見て取れ、人材開発部ではそうした人材をより体系的に集められるようにしたいと考えている。紹介が成立したエンジニア職・営業職の80%が、高い日本語能力を持つ外国人であった。

データベースへの日本人の登録はまだ少数派で、人材開発部はフランス企業のニーズに応えるべく、日本人求職者への知名度を向上させる方法を模索している。とりわけ日本人の人材については、デジタル・マーケティングや国際的な多面性を兼ね備えている人材（MBA）を集めることが優先課題である。アシスタント職は既に多数の紹介実績がある。

### 5.2.4 人材紹介戦略

優先課題

- ▶ 求職者向け
  - LinkedIn等の外部ツールを活用したデータベースの強化。
  - データベースのROIをより体系的な方法で数量評価できるよう、人材紹介サービスの実務レベルでKPIを設定。
- ▶ 企業向け
  - フランス・ジャポン・エコの派生として「採用版」を出版し、人材開発部の採用アドバイザーとしての役割と知名度を向上させる。この採用版は、新会員に日本の採用市場の現状と、候補者を集める為の戦略について情報を提供するツールにもなる。

その他の課題

- ▶ 人材データベースの構造の簡素化を検討（スピーディーで使いやすい「スマートフォン対応」型ツールへの移行）

### 2018年戦略

人材獲得のためにテーマ別の外部ネットワーキングイベント（デジタル・マーケティング等）に複数回参加したが、期待ほどの結果は得られなかった（2人に1人は紹介した案件を辞退）。

2017年9月～11月にキャリアクロスを利用し求人広告を掲載したが、良い人材を見つけるには至らず、今後継続はしない。



## 5.3 研修セミナー

2018年の人材育成セミナーは、2017年に最も好評だったテーマに加え、新しいセミナーを提供した。50%以上が新しいテーマであった。

年間プログラムの決定は、以下の点を基準としている：

- ▶ 異文化の観点を重視したセミナーの選定
- ▶ 言語・内容ともに、会員のニーズに応じた提案：年間を通し会員の人事担当者を訪問し、新たなニーズの把握に努めている。
- ▶ 質・料金ともに魅力的なセミナーの提供を可能にする、研修会社及び研修パートナーとの信頼関係
- ▶ ハイポテンシャルな管理職向けのグローバル研修の実施

### 2018年実績

#### 1日研修

会員企業52社が様々な人材育成セミナーを利用した。5つの研修機関と協力し提供した12回の公開セミナーに、125人が参加した。(フランス語、日本語又は英語による1日研修)

2月19日

採用面接のためのインタビュー・スキル (日本語)

2月22日

サクセスフル・パブリック・スピーキング (英語)

3月12日

どのようにセールスチームのパフォーマンスを最適化するか (半日) (英語)

4月10日

採用面接のためのインタビュー・スキル (英語)

5月17日

異文化コミュニケーション -日本人とより上手く働くために (英語)

6月5日

より自信のあるリスクテイクになるには (日本語)

7月4日

効率的なタイム・マネジメント (日本語)

9月26日

B to B セールス トレーニング (日本語)

10月11日

チェンジ・マネジメント -変革を効果的に実施する為のリーダーシップ (日本語)

10月18日

パフォーマンス・マネジメント: 目標設定、評価、フィードバック (日本語)

11月27日

日仏異文化コミュニケーション (フランス語)

11月28日

日仏異文化コミュニケーション (日本語)

17名が2018年グローバル・マネージャー・プログラムに参加

6回目となる集中型エグゼクティブ研修プログラムを開催。マネジメントの主要テーマを取り上げ(5テーマ×2日間)、ESSECビジネススクールから招いた講師が英語でセミナーを行った。2018年の開催は、パートナー校の変更に伴いプログラムを刷新し、イノベーションやデジタル・トランスフォーメーションなどのトピックを盛り込んだ。募集定員に対し満席であった。

プログラム内容

- ▶ 2月25日・26日: Innovative business models
- ▶ 3月14日・15日: Design Thinking
- ▶ 4月23日・24日: Financial analysis for value creation
- ▶ 5月10日・11日: Marketing strategy
- ▶ 6月7日・8日: Mentoring and Employee Development

6月8日の夕方、修了証書授与セレモニーを行った。

ランチ&ラーン (Lunch & Learn)

ランチの時間帯に2時間で実施する新しい形式のセミナー「ランチ&ラーン (Lunch & Learn)」をスタート。人材開発委員会との違いは、即実践可能なスキルの習得を目的とした研修である点である。第一回は10月25日に開催し、ネットワーキングをテーマに取り上げた。日本語で実施し、18人が参加した。

### 人材育成セミナー戦略

- ▶ 会員企業の関心事に関連する1日研修を新たに提案 (2019年は13テーマ中6テーマが新規)
- ▶ ランチ&ラーン (Lunch & Learn) の展開
- ▶ ESSECビジネススクールと協力しグローバル・マネージャー・プログラムを継続
- ▶ 移転後の会議室の収容力拡大にともなう、新たな形式の検討



## 5.4 人事ネットワークの活性化

人事ネットワークの活性化は、人材開発部の重要な業務の一つであり、人事部長やマネージャーに対し、人事関連の情報だけでなくネットワーキングの場を提供している。

### 人材開発委員会

人材開発委員会のセミナーは、人事分野における専門知識を共有する場として、会員企業の人事関係者のみならず、テーマに関心のあるその他の社員からも好評を得ている。

#### 委員長：

エレノ・ブルゲール（エアバス・ヘリコプターズ・ジャパン株式会社）

2018年は、講演会を3回、人事ネットワーキングイベントを1回開催した。

#### ▶ 3月1日「How to handle low performance at work」<sup>(1)</sup>

エグゼクティブ・コーチであるパトリック・ロードン氏が、パフォーマンスが低い状態の定着を防ぐには、目標設定やコミュニケーション、特に定期的なフィードバックが重要であることを述べた。エンテパー法律事務所 パートナー 門伝明子氏は、関係者の間で和解が不成立に終わった場合、可能な法的解決策について説明した。

#### ▶ 6月6日「Les avantages de la diversité en entreprise – l'expérience française (企業におけるダイバーシティの利点—フランスの事例から)」<sup>(2)</sup>

在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本と在日フランス商工会議所の共催で行なわれ、60人以上が参加した。パネリストはESSECのリーダーシップ&ダイバーシティ講座座長高木順子氏、排除と闘うFACE財団 キャトリンヌ・トリッポン氏、日本においてLGBTの権利を擁護する株式会社トロワ・クルール創設者増原裕子氏の3名。在日フランス大使館文化参事官のピエール・コリオ氏の基調講演の後、各パネリストはダイバーシティという、話題にはなるけれども具体的な行動がまだ余りとられていない問題についてそれぞれの見解を披露した。

#### ▶ 10月2日「Building employee satisfaction」<sup>(3)</sup>

NAOS JAPAN株式会社 代表取締役社長 グレゴリー・ダンクス氏と、アメリカン・エクスプレス・インターナショナル副社長兼人事部長(日本/韓国/タイ)森田義博氏が、社員や同僚の満足度およびエンゲージメント向上の方法について実例を紹介した。

▶ 11月29日 ベルノ・リカール・ジャパン株式会社の東京本社で人事ネットワーキングイベントを開催し、9社が参加した。(ヤン・ソエノン氏と富田直子氏に謝意を表す)

合計120人が上記のイベントに参加した。

▼(1)



▼(2)



▼(3)



## 5.5 企業と大学の架け橋

在日フランス商工会議所は、日本人学生へのフランス企業の知名度向上ために、日本の有名大学との関係づくりを行っている。

### 「フランス企業を知る2018」

早稲田大学と協力し12月18日に「フランス企業を知る」を同大学キャンパス内で開催した。

開催の目的は、日本人学生へのフランス企業の知名度向上と、フランス企業でのキャリアの紹介である。本イベントは全ての学生（他大学を含む）を対象にしている。様々な学部から130人以上の学生が来場し、参加企業のブースを訪れた。

10社がイベントに出展：バカラバシフィック株式会社、ダノジャパン株式会社、LVMH モエ ヘネシー・ルイ ヴィトン・ジャパン株式会社、マザージャパン、エムシードウコー株式会社、日仏貿易株式会社、ペルノ・リカール・ジャパン株式会社、株式会社プチブトージャパン、シュナイダーエレクトリック株式会社、ヴェオリア・ジャパン株式会社また、パートナーシップを結んでいるフランス政府留学局 (Campus France) も特別参加した。

各企業は学生と話すためにブースを出展。講演会場では、企業紹介のプレゼンテーションと株式会社ディスコによる特別セミナー「留学経験を就職活動にどう活かすか?」を実施。約90人の学生がセミナーに参加した。



### 「グローバル企業フェア2018」

在日フランス商工会議所（東京オフィスと関西デスク）は、早稲田大学で毎年実施している「フランス企業を知る」と同じ形式で、関西圏の学生にグローバル企業11社を紹介するイベントを6月13日に開催した。80人以上が企業ブースを訪れた。参加企業：日本エア・リキード株式会社、エアバス・ヘリコプターズ・ジャパン株式会社、ノヴァテックジャポン株式会社（デカトロン・ジャポン）、関西エアポート株式会社、日仏貿易株式会社、株式会社プチブトージャパン、ロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社、西濃シェンカー株式会社、シュナイダーエレクトリック株式会社、スイスホテル南海大阪、ヴェオリア・ジャパン株式会社

### 日本の大学での情報提供セミナー

人材開発部は、2018年3月7日と7月31日にフランス政府留学局 (Campus France) 主催のセミナーに参加し、フランス企業の活動や採用の動向について、約60人の学生に対して説明した。また、7月31日のセミナーではLVMH モエ ヘネシー・ルイ ヴィトン・ジャパン株式会社を招待し、企業の活動と採用について学生に紹介する機会を提供した。

5月25日、明治大学主催の「フランス・デー」にて、フランス企業の日本での活動を紹介した。また、ロクシタンジャポン株式会社とピエール・エルメからスピーカーを招いた。

2019年は、第2回グローバル企業フェアの実施により関西での活動をさらに発展させる。今回は神戸大学の協力を得て開催する。（関西デスクがプロジェクトを担当）



# 6. 商務部

## 6.1 総括

### フランス中小企業向けに信頼のおけるサポートサービスを提供

商務部の2018年の活動では179件のサービスサポートが提供された。同部はビジネスの成功要因は継続的なアプローチにあるという原則に基づき、各フランス企業のニーズに合わせた個別のフォローアップサービスも提供しており、2018年も、前年に引き続きこうしたサービスに対する要望が増加した。

- ▶ 179サポートサービスの実施件数
- ▶ 22ビジネスセンターの受け入れ企業数
- ▶ 23日本ミッションのプロモーションで訪問したフランス国内の商工会議所



## 6.2 ミッション

商務部の活動は、日本市場におけるビジネス展開を希望するフランス企業ニーズに応えることであり、特に日本市場においてフランス企業が行う最初のアクションとしてのミッションを数多く行っている。

同部の業務は、各企業のニーズに応じた企業サポートサービスを実施することである。(随行アテンド、通訳業務、ポテンシャル調査、マーケットリサーチ、顧客開拓ミッションの企画・実施、ビジネスフォローアップ、業務拠点提供)

フランス商工会議所連合会(A C F C I)により、日本市場での継続的な事業展開を検討するフランス企業を啓発・準備・サポートするために、フランス国内の商工会議所とCCIFとをつなぐ業務手法と体系的なアプローチを構築している。

上記支援活動の枠内において、次のサポートサービスが提供された。

- ▶ 各企業のニーズに合わせた市場調査
- ▶ 潜在的な顧客・企業・提携先の選定
- ▶ ビジネスミッションのオーガナイズ
- ▶ 継続的な企業支援サービス

### 6.2.1 以下の例は同部の提供しているサービス分野が多岐にわたっていることを示している

- ▶ Bonjour France開催時に伊勢丹新宿店に紹介した仏企業へのミッションのオーガナイズ。フランス各地域より10社が来日。日本の市場及び商習慣について学んだ後、1.5日間にわたり日本企業との個別面談を行った。
- ▶ オクシタニ地方との連携によるマルチセクターミッションのオーガナイズ。日本の市場・商習慣について学んだ後、7社の企業が2日間にわたり日本企業との個別面談を行った。
- ▶ 100周年記念日仏ビジネスミッションのオーガナイズ。未来への可能性を秘めた4セクター：スマートシティ/ライフサイエンス/デジタル/シルバーエコノミーに関連する企業34社が来日し、日経ホールでのビジネスサミット、日本企業との個別面談を行った後、日本市場・商習慣についてのセミナーを受け、セクター別に日本企業への団体訪問に参加した。<sup>(1)</sup>

ミッションの参加者向けに最終日に実施している顧客満足アンケートにおいて、2018年は10点満点中、平均が8点であったが、これは商務部の提供するサービスのクオリティーの高さを示すものである。

### 6.2.2 コメント ミッションを実施した企業からの言葉

◀◀ オクシタニ団体ミッションの際には、自分達のターゲットにぴったり合った日本企業との面談を在日フランス商工会議所にオーガナイズしてもらって大変満足している。弊社商品が日本にはない商品ということもあり日本企業からはすぐに興味を持っていただき、弊社からの建設的なアプローチが出来たという点で今回のミッションを高く評価している。弊社は過去にも日本企業とやりとりの経験があったので、今回の日本企業とのやりとりについては特に注意を払っていたこともあり、ミッションで面談したパートナー候補の日本企業とは、日本とフランスの距離を感じさせないほどに早く、しかも綿密なやりとりをすることが出来て、ミッションから3か月後には面談企業のうちの1社のインポーターとの具体的なプロジェクトの話がまとまった。」

A. MARMUS 氏  
テリヌ生産企業

◀◀ 在日フランス商工会議所がアレンジした面談は全て大変質の高いものであった。面談した4社のうちの2社は現在検討の段階に入っており、1社のインポーター企業からは面談後すぐにオーダーをもらうことができた。この企業は会社組織もしっかりしており、パリにも事務所があることからコミュニケーションも円滑に図れて、完璧な段取りで仕事ができている。ここが出展した日本のワインの展示会では弊社のグランクリュを4種類展示してもらい、そのうちの2点が金賞を取ったとの報告が来ている。バイヤーが出張でフランスに来た際には弊社のドメヌマまで見学に来ていただいたので、今度は我々が再度日本に行って両社の今後の関係をさらに強いものにしていきたいと考えている。」

R. PETITDEMANGE 氏  
ワイン生産企業

◀◀ 6月に在日フランス商工会議所がオーガナイズしたビジネスミッションに参加したが、ミッション担当者は常にプロフェッショナルな仕事振りで、6社との面談を設定してくれた。そのうちの1社とはミッション後4か月間に渡ってやり取りを続けた結果、10月には最初のオーダーをもらうことができた。」

R. MARTIN 氏  
ワイン生産企業



◀(1)

## 6.3 業務拠点提供・受け入れサービス

フランス中小企業・製造業からの日本市場進出の要望に応えるため、VIE (国際企業ボランティア) を対象とした受け入れサービス及び業務拠点を提供している企業に対する支援・指導サービスにも力を入れている。2017年に引き続き全部で40の専用スペースを設けて22社(36スペース)の企業を受け入れている。(90%の占有率)

2018年の受け入れ企業/団体 22社 (36スペース)  
固定スペース(15)

- ▶ グループ デュフ/ブリドール(9スペース)
- ▶ グループ タイヤン(3スペース)
- ▶ レイル ヨーロッパ(3スペース)

オープンスペース(21)

- トウキョウストーリー
- Kpass
- レイルヨーロッパ
- I M E D
- クワティフィケア
- ブロードピーク(2スペース)
- シャンパーニュ ジャカール/シャンパーニュ モントードン
- イブセン ファルマ
- チュアンヌ
- メカアエロ コンサルティング
- ファームド
- ニコマティック
- トラディショナル ワールド フード
- デジタル サーフ
- マリー プリザード
- アクシア モーターズ
- AC メディア
- シャンパーニュ ニコラ・フィアット
- ナバル エナジー
- ヴィトリヌ メディア

上記のうちのVIE(国際企業ボランティア)受け入れ企業

- グループ タイヤン(2人)
- I M E D
- クワティフィケア
- ブロードピーク
- メカアエロ コンサルティング
- チュアンヌ
- アクシア モーターズ
- ナバル エナジー

## 6.4 フランス領事館ネットワーク関連

2018年、日本市場に関心を持つ企業へ働きかけるため、在仏各地の商工会議所の協力により、日本ミッションへのプロモーション活動を以下の日程でのべ23回行った。

|        |                   |
|--------|-------------------|
| 2月2日   | クレルモン商工会議所        |
| 3月26日  | パリ イル・ド・フランス商工会議所 |
| 3月26日  | ナント商工会議所          |
| 3月28日  | リヨン商工会議所          |
| 3月28日  | モンペリエ商工会議所        |
| 3月29日  | サンティエンヌ商工会議所      |
| 3月29日  | マルセイユ商工会議所        |
| 3月30日  | アヴィニョン商工会議所       |
| 3月30日  | トゥルーズ商工会議所        |
| 4月3日   | リヨン商工会議所          |
| 4月3日   | パリ イル・ド・フランス商工会議所 |
| 4月6日   | グランテスト商工会議所       |
| 6月19日  | パリ イル・ド・フランス商工会議所 |
| 6月26日  | リヨン商工会議所          |
| 7月2日   | ブルターニュ商工会議所       |
| 7月3日   | パリ イル・ド・フランス商工会議所 |
| 9月27日  | ニース商工会議所          |
| 10月2日  | ル・マン商工会議所         |
| 10月3日  | アンジェ商工会議所         |
| 11月19日 | パリ イル・ド・フランス商工会議所 |
| 11月20日 | クレティユ商工会議所        |
| 11月21日 | ロワシー商工会議所         |
| 11月22日 | サクレ商工会議所          |



# 7. パートナー

## 7.1 欧州ビジネス協会（以下EBC）への参加

EBCは、40年以上にわたり18ヶ国の欧州商工会議所を代表し、日欧間の経済・貿易関係の改善に尽力している。そのネットワークの強さと積極的なロビー活動により、EBCは重要な役割を務めている。EBCは、欧州商工会議所により設立され、サポートを受けている。

在日フランス商工会議所（以下弊所）会頭アルメル・カイエル氏が理事会（BoG）に、理事ギィ・ホノー氏が運営委員会（EOB）に、弊所代表として出席した。

- ▶ 2018年6月、アリソン・マリー事務局長の定年退職後、後任としてイタリア商工会議所 前会頭のフランチェスコ・フォルミコーニ氏が10月1日に着任した。
- ▶ 9月、ダニー・リスバーク会長が退任（所属企業を退職、EU以外の企業に就職したため）。マイケル・ロフラード第一副会長が新会長選出の選挙終了まで代理を務めた。

会長選挙が2018年末に実施されたが、2019年の初めにスイス商工会議所 前会頭で運営委員会（EOB）のメンバーであるミハエル・ムロチェック氏と、航空・宇宙・防衛・安全保障委員会の委員長であるステファン・ジヌー氏の間で決選投票が行われ、ミハエル・ムロチェック氏が選出された。新会長のイニシアティブの元、EBCは新たな歩みを進めることになる。

2018年、EBCの活動は、2019年2月1日から施行された日欧自由貿易協定の最終化に焦点を当てた。

### 日・EUビジネス・ラウンドテーブル（BRT）

2018年4月20日、第20回 日・EUビジネス・ラウンドテーブル（BRT）が、東京で開催された。EU側の議長は、エリック・シュルツ氏（ロールスロイス社、民間航空部門プレジデント）。日本側議長である佃和夫氏と前BRTメンバーであるダニー・リスバーク氏は、採択された提言書を安倍晋三総理へ渡し、日EU経済連携協定（EPA）の早期の最終合意を希望した。

ベン・ストーリー氏（ロールスロイス社）と柵山正樹氏（三菱電機株式会社）が、シュルツ氏と佃氏の後任として共同議長に着任した。

### 自由貿易協定（FTA）/経済連携協定（EPA）：EBCの活動

各委員会の活動をまとめたEBCの白書「新たなパートナーシップへ：日本の商環境に関するEBC報告書」を作成、翻訳、日欧関係各所へ渡した。EPAに推奨事項を統合することに重点を置いている。

経済連携協定の締結後、EBCは、日本における経済連携協定の実施を支援および監視するためのサービス契約の提案に回答するために、PWCが主導するコンソーシアムの中にいる。欧州共同体によるコンソーシアムの選択は、2019年第2四半期に行われることになっている。



## 7.2 日本のパートナー、関連団体

在日フランス商工会議所は、日本国内の日仏関連団体と提携し、常に日仏経済界の発展に取り組んでいる。

### 日仏経済交流会 (通称パリクラブ)

日仏経済交流会 (通称パリクラブ) は、その事務局を提供するCCI France Japon の発意により1993年に創設され、フランスとの経済活動に従事し、或いは従事した、フランス語を話し、フランス最良の、日本人ビジネスマン及びビジネスウーマンが集う。

パリクラブには現在367人(内16人は名誉会員)の会員がいる。

|      |  |
|------|--|
| 名誉会長 | 磯村尚徳 (日仏メディア協会、通称TMF)  |
| 参与   | 久米五郎太<br>綿貫健治<br>瀬藤澄彦  |
| 会長   | 宮原英男 (大林組)   |
| 副会長  | 山崎亜也 (日揮)<br>足立純子 (HEC)<br>五十嵐邦雄 (サン総合管理)<br>森由美子 (エスプリ・テクス)<br>紙野憲三 (東レ科学振興会)             |
| 事務局  | 宮原英男 (大林組)<br>山崎亜也 (日揮)<br>大森順子 (通訳案内士)<br>栗田哲平 (ヴェオリア)<br>山根正裕 (山根会計事務所)<br>石塚ひろ美 (エイチエム) |

理事29名、監事2名

2018年には、パリクラブと在日フランス商工会議所は、10件の経済及び又は文化イベントを共催した。

#### ▶ 3月6日

日本財団 パリクラブイベント 時局放談会 ゲストスピーカー：磯村尚徳氏 (パリクラブ名誉会長)



#### ▶ 4月24日

ガンシップ ホテルニューオータニ パリクラブイベント フランスにおける海外直接投資と日本の参画 ゲストスピーカー：バスカル・ゴンドラン氏 (フランス大使館 貿易投資部 参事官 ビジネスフランス 日本・北東アジア地域代表)

#### ▶ 4月25日

日本財団 パリクラブイベント 第65回ランデブー フランコジャポネ 討論会・懇親会「パリクラブの過去と未来」 ゲストスピーカー：パリクラブ歴代会長 磯村尚徳氏、渡辺昌俊氏、池上久雄氏、久米五郎氏、瀬藤澄彦氏、宮原英男氏

#### ▶ 6月26日

日仏会館 パリクラブイベント 講演会「あなたも狙われている 世界的サイバーエスピナーズ時代 日本の課題と展望」 ゲストスピーカー：新田容子氏 日本安全保障・危機管理学会・主任研究員・ロシア動向及びインテリジェンス担当

#### ▶ 7月11日

日仏会館 パリクラブイベント 講演シンポジウム「ル・コルビジエ浮かぶ建築」セヌ川洪水の災害を克服する栈橋プロジェクト ゲストスピーカー：遠藤秀平氏 神戸大学教授、マニユエル・タルディッツ氏 明治大学特任教授、西田工作氏 アロイ社長

#### ▶ 7月26日

保険サービスシステムセミナー ルーム パリクラブイベント 輝く会 第15回講演会 松平家から学ぶ和のおもてなし「日本人だから知っておきたいホスピタリティの技術」 ゲストスピーカー：松平洋史子氏 大日本茶道協会会長



#### ▶ 10月9日

ガンシップ ホテルニューオータニ パリクラブイベント 講演会「エルメスと老舗の精神」齋藤峰明氏 シーナリーインターナショナル代表

#### ▶ 10月25日

パークレストラン パリクラブイベント 第6回ワインブラインドテイasting大会

#### ▶ 11月10日

石川酒造 パリクラブイベント「東京多摩の老舗酒蔵を訪ねて」



#### ▶ 12月18日

日本財団 パリクラブイベント 時局放談会 ゲストスピーカー：磯村尚徳氏 (パリクラブ名誉会長)「2018年からみる波乱の2019年の欧州」

## 日仏会館

2004年以降、日仏会館の日本経済と社会に関するランチセミナーに協力している。ランチセミナーの案内を在日フランス商工会議所の会員に発送し、参加を呼びかけた。このセミナーは英語で開催される。2018年、6回開催された。

日仏会館フランス事務所研究所長：酒井セシル氏

- ▶ 1月24日  
*Pourquoi les Japonais travaillent-ils trop ?*  
par Pierre Mourlevat (ministre conseiller pour les affaires économiques de l'ambassade de France), Ryûichi Okumura (Mitsubishi Research Institute) et Bunki Yano (Japan Overseas Enterprises Association), et modéré par Fuminori Masubuchi (université Teikyô Heisei, MFJ).
- ▶ 4月18日  
*Réflexions sur les négociations de l'APE UE-Japon* par Yôichi Suzuki (MAE, négociateur en chef de l'APE UE-Japon), commenté par Kôichiro Matsuura (président d'honneur de la fondation MFJ) et modéré par Nobutaka Miura (vice-président de la fondation MFJ).
- ▶ 5月18日  
*Inbound Foreign Direct Investment in Mature Economies: Lessons from Japan* par Rémy Magnier-Watanabe (professeur associé à l'université de Tsukuba, Tokyo).
- ▶ 6月19日  
*Lawyers and the Construction of Public Problems in Contemporary Japan* par Adrienne Sala (conférencière à Sciences Po Lyon, attaché temporaire d'enseignement et de recherche à l'IEP Lyon et chercheuse associée à la Fondation France-Japon de de l'Ecole des hautes études en sciences sociales).
- ▶ 7月5日  
*The 6<sup>th</sup> Industry: Renegotiating the Political Economy of "Regional Japan"* par Hanno Jentsch (directeur de recherche de l'Institut allemand d'études japonaises de Tokyo).
- ▶ 10月5日  
*Leaning Out for the Long Span* par Glenda S. Roberts (professeur à l'université de Waseda).
- ▶ 11月2日  
*Tax Policy, the State and the Family: Questioning the Gendered Aspect of Spousal Deductions* par Amélie Corbel (doctorante au Centre d'Etudes Européennes de Sciences Po Paris).

## 関西フランス会 (CFK)

在日フランス商工会議所は、東京以外の団体との関係構築のため1997年、Cercle France Kansai (関西フランス会) の設立を主導し、以降、その活動を支援し、協調を図ってきている。2018年には月例会は12回開催され、その案内を在日フランス商工会議所会員に配信し、参加をよびかけた。

**現在、関西フランス会は11人のフランス人と57人の日本人、合計68人の会員で構成されている。**

会長：品川芳洋氏 三起商行株式会社(ミキハウス)、関西国際大学

- ▶ 1月17日  
関西フランス会新年会(在日フランス商工会議所関西デスクとCFK 共催) / 場所：旬穀旬菜 グランフロント大阪
- ▶ 2月16日  
関西フランス会月例会 / ゲストスピーカー：小池洋次氏(関西学院大学) / 場所：ア・フリーク
- ▶ 3月14日  
関西フランス会月例会 / ゲストスピーカー：クリストフ・ルメール氏(日本中央競馬会) / 場所：ラグナヴェール大阪



- ▶ 4月13日  
関西フランス会月例会 / 場所：レストラン インドシナ
- ▶ 5月12日  
関西フランス会月例会 / 場所：大原(京都)
- ▶ 6月13日  
関西フランス会月例会 / 場所：レストランフランス食堂44区
- ▶ 7月18日  
関西フランス会月例会 / 場所：ラグナヴェール大阪
- ▶ 8月18日  
関西フランス会月例会 / 場所：河内ワイン
- ▶ 9月8日  
関西フランス会月例会 / 場所：ルバカサブル
- ▶ 10月18日  
関西フランス会年次総会 / 場所：ガスビル食堂
- ▶ 11月21日  
関西フランス会月例会 / ゲストスピーカー：位田隆一氏(滋賀大学) / 場所：ラグナヴェール大阪
- ▶ 12月19日  
関西フランス会月例会 / 場所：The Bar ザ・リッツ・カールトン大阪



Atsushi NAKAJIMA  
中島 厚志 氏

Research Institute of Economy,  
Trade and Industry (RIETI)

Patrick ARTUS  
パトリック・アルテュス 氏  
Chief Economist and  
Member of the Executive National Institute of Science  
Committee  
NATIXIS

Miki KURIBAYASHI  
栗林 美紀 氏  
Senior Research Fellow  
and Technology Policy,  
MEXT

Yumiko NODA  
野田 由美子 氏  
President and  
Representative,  
Director  
Veolia Japan K.K.

Bernard Y...  
ベルナルド・...  
Vice Pres...  
International  
Orang...



